

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市引野町5401番地に位置し、東手城引野2号線に接しています。

工事期間中、2026年7月18日（土）から8月24日（月）は夏休み、2026年12月24日（木）から2027年1月6日（水）は冬休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

2 別途工事

ありません

3 留意事項

- (1) 8月25日（火）から2学期が開始するため、それまでに昇降所、渡り廊下①及び渡り廊下②の改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。
また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないよう、必要な対応をお願いします。
- (2) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (3) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (4) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出のうえ監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (5) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (6) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (7) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (8) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「コンクリート塊、廃プラスチック、建設混合廃棄物」です。

4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。

- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。
- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

- (16) 本工事は、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事です。本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。
本工事は、発注者指定型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができます。

福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

図 面 目 録	
図面番号	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 No-1
2	建築改修工事特記仕様書 No-2
3	建築改修工事特記仕様書 No-3
4	建築改修工事特記仕様書 No-4
5	建築改修工事特記仕様書 No-5
6	建築改修工事特記仕様書 No-6
7	敷地案内図・配置図
8	1階・2階平面図
9	3階・4階平面図
10	R階・PH階平面図、渡り廊下②
11	立面図(北側・西側)
12	立面図(南側・東側)
13	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図
14	附属棟(倉庫①、倉庫②、体育倉庫)

工事名称		福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称		表紙・図面目録	
縮尺率		図面No	
A1=100%		1	
A2= 71%			
A3= 50%			



福山市建設局建築部営繕課

福山市建築改修工事特記仕様書

- 1. 工事概要
1. 工事場所 広島県福山市引野町5 4 0 1番地
2. 敷地面積 2 4 . 4 8 5 m ²
3. 工事種目 防水改修、外壁改修、塗装改修、環境配慮改修
(1) 南棟校舎：鉄筋コンクリート造 4階建 延べ面積 1 1 5 4 m²
(2) 渡り廊下(1)：鉄筋コンクリート造 4階建 延べ面積 8 0 . 1 m²
(3) 渡り廊下(2)：鉄骨造 平家建 延べ面積 3 3 . 1 m²
(4) 倉庫①：コンクリートブロック造 平家建 延べ面積 2 3 . 8 m²
(5) 倉庫②：コンクリートブロック造 平家建 延べ面積 2 6 . 2 m²
(6) 体育倉庫：鉄筋コンクリート造 平家建 延べ面積 3 3 . 9 m²

- 4. 工事範囲
※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち...
○「3. 工事種目」のうち (1)～(6) の工事範囲は次表のとおりとする。ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

Table with 2 columns: 工事種目, 工事範囲. Rows include 仮設工事, 防水改修工事, 外壁改修工事, 建具改修工事, 内装改修工事, 塗装改修工事, 耐震改修工事, 環境配慮改修工事.

- II 建築改修工事仕様
1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁審判部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版」(以下「改修標準仕様書」という。)&「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版」(以下「標準仕様書」という。)&によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)(以下「標準詳細図」という。)&
○ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は(/)図、機械設備工事の工事特記仕様書は(/)図による。
3. 特記仕様書の適用は次による。
(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と ※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[. . .]内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

- III 福山市建築改修工事仕様
本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。
本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。
1. 官公署の手続き
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)&
2. 施工中の安全確保
本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。
交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。
3. 監理(主任)技術者
現場代理人及び監理(主任)技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。
4. 別契約の関連工事との調整等
・ 施工範囲は「工事区分表」による。
・ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
・ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。
5. 施工管理
※ 施工体制台帳の写しを提出する。
6. 施工図及び施工計画書
提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る著作権は、発注者に移譲するものとする。
7. 保証書
次の工事について保証書を提出する。

Table with 4 columns: 工事区分, 材料名, 保証年限, 備考. Rows include 防水工事, 外壁改修工事, and multiple entries for 外壁複合改修工法.

- 8. 引渡し後点検
引渡し後、次の点検を行う。(○印のついたものを適用する。)&
・ 引渡し後点検(第1次点検) 引渡しの日後1年後
・ 引渡し後点検(第2次点検) 引渡しの日後2年後

Table with 4 columns: 章, 項目, 特記事項, 章. Rows include 一般事項, 工事実績情報システム(コリンズ)への登録, 画面の書式及び取扱い, 遠隔臨場の実施, 実施工程表, 工事の記録等, 電気保安技術者, 施工条件, 発生材の処理等, 石綿含有建材の調査, 施工数量調査.

Table with 4 columns: 章, 項目, 特記事項, 章. Rows include 技能士, 適用 適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。 [1. 7. 2], 仮設工事, 鉄筋工事, コンクリート工事, 鉄骨工事, コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事, 防水工事, 石工事, タイル工事, 木工事, 屋根及びとい工事, 金属工事, 左工事, 建具工事, カーテンウォール工事, 塗装工事, 内装工事, 排水工事, 舗装工事, 植栽工事, 湿度測定の実施, 測定時期, 測定対象化学物質, 測定方法, 測定対象化学物質, 中間技術検査, 提出図書, 提出図書 ※改修標準仕様書 1. 9. 2及び1. 9. 3による, 種類、記入内容等, 作成等, 完成写真




Table with 4 columns: 章, 項目, 特記事項, 章. Rows include 仮設工事, 仮設部分の養生, 仮設間仕切り, 監督職員事務所等, 工事用水, 工事用電力, 工事名称, 図面名称, 縮尺率, 図面No.

章	項目	特記事項
防水改修工事	⑤ 施工数量調査	調査範囲 ・ 図示による 調査方法 ・ 図示による 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による 調査報告書(提出部数 2部)
	○ 降雨等に対する養生方法(とい共)	※ 改修標準仕様書 3.1.3(5)(ア)~(ウ)による [3.1.3]
	○ 改修工法の種類及び工程	防水改修工法 ○ 図示による [3.1.4]
○ 既存防水層の処理	既存保護層の撤去	[3.1.4][3.2.6] ・ 行う(範囲 図示による) ・ 行わない
	既存防水層の撤去	・ 行う(範囲 図示による) ・ 行わない
	既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去	・ 行う(M4S M4S1 M4C M4D1 L4X) ○ 行わない
○ 既存下地の処理	立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去	・ 行う(POAS POAS1 POD POD1 POS POS1 POX M4S M4S1 S4S S4S1) ・ 行わない(POAS POAS1 POD POD1 POS POS1 POX M4S M4S1 S4S S4S1)
	屋内防水	・ 保護層を新設(範囲 図示による)
	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等	[3.2.6] ○ 図示による POS工法及びPOSI工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書 3.2.6(4)(ウ)(g)①~③による 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 監督職員と協議する ・ 図示による
○ アスファルト防水	新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類 [3.2.5][3.3.2~3.3.5]	

章	項目	特記事項	
○ 改修アスファルトシート防水	改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.3.8及び表 3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上 部分粘着層付改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.3.8及び表 3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上	
	絶縁絶縁工法のルーフトレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置	※ 図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 (個)	
	屋内防水 防水層の種類	工法 種類 施工箇所 ・ PIE ・ E-1 ・ P2E ・ E-2	
○ 新設防水層の種類 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]	改修工法	新設種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率防水 備考	
	・ M4S	AS-T1 AS-T2 AS-J2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	改修標準仕様書 3.5.2(3)(エ)(b) (種類) (厚さ)(mm) ※ 改修標準仕様書 3.5.2(3)(エ)(a) (種類) (厚さ)(mm)
	・ M3AS1	AS1-T1 AS1-J1	改修標準仕様書 3.4.2(3)(ウ) (種類) (厚さ)(mm)
○ 改修アスファルトシート防水	改修アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上 粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上 部分粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ 種類 () 厚さ () 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ 改修アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※ 改修アスファルトシートの製造所の指定 (個) 絶縁断熱工法の防湿シート ・ 設置する ・ 設置しない	
	改修アスファルトシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上	
	粘着層付改修アスファルトシートの種類及び厚さ	※ 改修標準仕様書 3.4.1から表 3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上	
○ 塗膜防水	新設防水層(ウレタンゴム系塗膜防水)の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]	改修工法 新設種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率防水 備考	
	・ M4C	C-1 C-2 C-3 C-4	主材料の製造所の仕様 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける
	○ L4X	X-1 X-2 X-1H X-2H	主材料の製造所の仕様 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける

章	項目	特記事項	
○ 合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種類 [3.2.5][3.5.2~3.5.4]	改修工法 新設種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率防水 備考	
	・ S-F1	ルーフィングシートの製造所の仕様 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける	
	・ S-F2	ルーフィングシートの製造所の仕様 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける	
○ 塗膜防水	新設防水層(ウレタンゴム系塗膜防水)の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]	改修工法 新設種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率防水 備考	
	・ M4S	S-M1 S-M2	ルーフィングシートの製造所の仕様 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける
	○ L4X	X-1 X-2 X-1H X-2H	主材料の製造所の仕様 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける

章	項目	特記事項
○ シーリング	新設防水層(ゴムアスファルト系塗膜防水)の種類	改修工法 新設種類 施工箇所 工程数及び各工程の使用量 保護層
	・ P1Y	Y-2 ※ 主材料の製造所の仕様による 保護モルタル 厚さ(mm) 保護コンクリート 厚さ(mm)
	・ P2Y	Y-2 ※ 主材料の製造所の仕様による 保護モルタル 厚さ(mm) 保護コンクリート 厚さ(mm)
○ とい	シーリング材の種類、施工箇所	[3.1.4][3.7.2、3][3.7.7、8] シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号) 外部建具廻り 変成シリコーン(MS-2)
	仕上げを行わない施工箇所	・ 図示による シーリング材の目地寸法 ○ 図示による 接着性試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ ひも状接着性試験
	といその他の材料	[3.8.2][3.8.3] ・ 配管用鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 表面処理鋼板(規格番号) (表面及び裏面の塗膜の種類) とい受金物及び足金物の種類、形状及び取付け間隔 ※ 改修標準仕様書 3.8.2による ○ 図示による 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示による ○ 改修標準仕様書 3.1.3(5)(ア)~(ウ)による 鋼管といの防露巻き ※ 改修標準仕様書 3.8.4による
○ アルミニウム製 笠木	ルーフトレンドリの種類及び呼び	種類 呼び 施工箇所 ・ ろく屋根用形1型 ・ ねじ込み式 ・ 図示による ・ ろく屋根用形1型 ・ ねじ込み式 ・ パルコニー中継用 ・ ねじ込み式 ・ 差し込み式 ・ パルコニー用 ・ ねじ込み式 ・ 差し込み式 ・ 図示による
	たてとい受金物の取付け	※ 図示による ルーフトレンドリの取付け ※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する ・ 種類 ・ 押出成形形 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅 ()mm 板厚 (※ 2.0mm ・ mm)
	表面処理	種類 ()種 色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 () 既存笠木等の撤去 ・ 行う(範囲 図示による) ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示による 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示による 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による
工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-2 縮尺率 図面No A1=100% A2= 71% A3= 50%		
 福山市建設局建築部営繕課 2 / 14		

章	項目	特記事項	項目	特記事項																																																			
④	③ 施工数量調査	<p>調査範囲 [1.6.2][1.6.3]</p> <p>○ 外壁改修範囲</p> <p>○ 図示による</p> <p>調査内容</p> <p>ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び腐蝕の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。</p> <p>コンクリート表面のはがれ及びはきは落部を壁面に表示する。</p> <p>塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはきは落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法</p> <p>○ 図示による</p> <p>調査報告書の部数 (○ 1部)</p>	③ 浮き部改修工法	<p>○ 複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐水性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 複層塗材E</td> <td rowspan="2">ゆず肌</td> <td rowspan="2">ローラー</td> <td>樹脂</td> <td>・</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・</td> <td>※ 耐水性 3種</td> </tr> </table> <p>・ 可とう形改修用仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐水性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">○ 複層塗材E</td> <td rowspan="3">ゆず肌</td> <td rowspan="3">ローラー</td> <td>樹脂</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・</td> </tr> <tr> <td>※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・</td> <td>※ 耐水性 1種</td> </tr> <tr> <td>※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・</td> <td>※ 耐水性 2種</td> </tr> </table>	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料	○ 複層塗材E	ゆず肌	ローラー	樹脂	・	・	※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・	※ 耐水性 3種	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料	○ 複層塗材E	ゆず肌	ローラー	樹脂	・	・	※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・	※ 耐水性 1種	※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・	※ 耐水性 2種																					
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料																																																		
○ 複層塗材E	ゆず肌	ローラー	樹脂	・	・																																																		
			※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・	※ 耐水性 3種																																																			
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐水性	防火材料																																																		
○ 複層塗材E	ゆず肌	ローラー	樹脂	・	・																																																		
			※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・	※ 耐水性 1種																																																			
			※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・	※ 耐水性 2種																																																			
4-①	① ひび割れ部改修工法	<p>○ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0 未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 注入工法</td> <td>0.3以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0 未満</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> </table> <p>注入状況の確認方法</p> <p>※ コアの抜き取りを行う</p> <p>抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※ 図示による</p> <p>○ Uカットシール材充填工法</p> <p>○ シーリング材</p> <p>充填材の種類</p> <p>※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系</p> <p>シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p> <p>シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・ シール工法</p> <p>・ パテ状エポキシ樹脂</p> <p>・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ 欠損部改修工法 [4.1.4][4.1.4, 7]</p> <p>・ 充填工法</p> <p>・ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>○ ポリマーセメントモルタル</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※ 200~300	・ 130	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40	・ 注入工法	0.3以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0 未満	・ 150~250	・ 130	<p>アンカービンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>・</p> <p>注入口付アンカービンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 6mm 程度</p> <p>・</p> <p>注入工法用材料</p> <p>・ ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以上</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘弾係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料</p> <p>・ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法用材料</p> <p>・ 現場調査材料</p> <p>・ 改修標準仕様書 8.2 コンクリート工事による</p> <p>・ 既調合材料 ()</p> <p>既製目地材</p> <p>・ 使用する (形状 ・ 図示による)</p> <p>仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置</p> <p>※ 図示による</p> <p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。</p> <p>○ 外壁複合改修工法</p>	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以上	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	<p>外壁用塗膜 防水材塗り</p> <p>仕上げの形状 [4.1.5][4.7.2, 3]</p> <p>工法</p> <p>仕上塗料の耐水性</p> <p>下地準動揺耐材の適用</p> <p>・ 適用する</p> <p>・ 適用しない</p> <p>コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。</p> <p>モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。</p> <p>吹付け工法の仕様材の種類</p> <p>・ 行う (・ 所要量 (kg/m²))</p> <p>・ 行わない</p> <p>外壁用仕上塗料の種類</p> <p>・ 行う (・ 所要量 (kg/m²))</p> <p>・ 行わない</p>																			
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																				
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※ 200~300	・ 130																																																				
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																																																				
・ 注入工法	0.3以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																																																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0 未満	・ 150~250	・ 130																																																				
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																		
3以上	3以上	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																		
4-②	① ひび割れ部改修工法	<p>○ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.6~8]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0 未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 注入工法</td> <td>0.3以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0 未満</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> </table> <p>注入状況の確認方法</p> <p>※ コアの抜き取りを行う</p> <p>抜き取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※ 図示による</p> <p>・</p> <p>○ Uカットシール材充填工法</p> <p>○ シーリング材</p> <p>充填材の種類</p> <p>※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系</p> <p>シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・ シール工法</p> <p>・ パテ状エポキシ樹脂</p> <p>・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ 欠損部改修工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.9, 10]</p> <p>○ 充填工法</p> <p>・ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法</p> <p>・ 現場調査材料</p> <p>・ 改修標準仕様書 8.2 コンクリート工事による</p> <p>(セメントは改修特記仕様書 8.2 コンクリート工事による)</p> <p>・ 既調合材料 ()</p> <p>既製目地材</p> <p>・ 使用する (形状 ・ 図示による)</p> <p>仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置</p> <p>※ 図示による</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※ 200~300	・ 130	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40	・ 注入工法	0.3以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0 未満	・ 150~250	・ 130	<p>○ ひび割れ部改修工法</p> <p>○ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.5, 6]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0 未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 注入工法</td> <td>0.3以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0 未満</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> </table> <p>○ 欠損部改修工法 [4.4.5][4.4.8]</p> <p>・ タイル部分張替え工法</p> <p>接着剤の種類</p> <p>・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>・ タイル張替え工法</p> <p>張替え用材料</p> <p>・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>・ 張付けモルタル (・ 現場調査材料 ・ 既調合モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置</p> <p>※ 改修標準仕様書 4.4.2による</p> <p>・ 図示による</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着剤試験</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p> <p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>・ 目荒し工法 (改修標準仕様書 4.3.10 (3) による)</p> <p>・</p> <p>タイル張りの工法</p> <p>※ 外装タイル</p> <p>・ 密着張り ・ 改良接着張り</p> <p>・ ユニットタイル</p> <p>・ マスク張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>・ 目荒し工法 (改修標準仕様書 4.3.10 (3) による)</p> <p>・</p> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地</p> <p>※ ポリウレタン系</p> <p>・</p> <p>伸縮調整目地その他の目地</p> <p>※ 変成シリコーン系</p> <p>※</p> <p>目地詰め (※ 行う ・ 行わない)</p> <p>○ 目地改修工法 [4.1.4][4.4.16]</p> <p>・ 目地ひび割れ部改修工法</p> <p>・ 伸縮調整目地改修工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法</p> <p>・ 図示による</p> <p>○ 外壁複合改修工法</p> <p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※ 200~300	・ 130	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40	・ 注入工法	0.3以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0 未満	・ 150~250	・ 130	<p>該当工事無しのため記載を省略</p>											
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																				
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※ 200~300	・ 130																																																				
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																																																				
・ 注入工法	0.3以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																																																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0 未満	・ 150~250	・ 130																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																				
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※ 200~300	・ 130																																																				
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																																																				
・ 注入工法	0.3以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																																																				
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0 未満	・ 150~250	・ 130																																																				
4-③	① 欠損部改修工法	<p>○ 充填工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.9, 10]</p> <p>○ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法</p> <p>・ 現場調査材料</p> <p>・ 改修標準仕様書 8.2 コンクリート工事による</p> <p>(セメントは改修特記仕様書 8.2 コンクリート工事による)</p> <p>・ 既調合材料 ()</p> <p>既製目地材</p> <p>・ 使用する (形状 ・ 図示による)</p> <p>仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置</p> <p>※ 図示による</p>	<p>○ 目地改修工法</p> <p>○ 外壁複合改修工法</p> <p>○ 既存塗膜等の除去</p> <p>下地処理及び下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ サンダー工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体</td> <td rowspan="2">・ ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 高圧水洗工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体</td> <td rowspan="2">○ 浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 塗膜はく離工法</td> <td>※ 既存仕上げ面全体</td> <td rowspan="2">・ 欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>○ 水洗い工法</td> <td>※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </table> <p>○ 下地調整塗材 [4.5.2]</p> <p>※ 下地調整塗材</p> <p>・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>○ 仕上塗材仕上げ [4.1.5][4.5.2]</p> <p>新規仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 薄付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">砂壁状</td> <td rowspan="2">吹付</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材C)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>※ セメントスタッコ</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材S、外装厚塗材E)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・ 適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 適用する</td> <td>・</td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体	・ ひび割れ部改修工法	・ 図示による	・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体	○ 浮き部改修工法	・ 図示による	・ 塗膜はく離工法	※ 既存仕上げ面全体	・ 欠損部改修工法	・ 図示による	○ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面	・ 図示による	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料	○ 薄付け仕上塗材	砂壁状	吹付	・	・	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	・			※ セメントスタッコ	・	・	・	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	・			・ 適用する	・	・ 適用する	・	<p>該当工事無しのため記載を省略</p>
工法	処理範囲	下地面の補修																																																					
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体	・ ひび割れ部改修工法																																																					
	・ 図示による																																																						
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体	○ 浮き部改修工法																																																					
	・ 図示による																																																						
・ 塗膜はく離工法	※ 既存仕上げ面全体	・ 欠損部改修工法																																																					
	・ 図示による																																																						
○ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面	・ 図示による																																																					
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料																																																				
○ 薄付け仕上塗材	砂壁状	吹付	・																																																				
			・																																																				
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																																			
・			※ セメントスタッコ	・																																																			
			・	・																																																			
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																																			
・			・ 適用する	・																																																			
			・ 適用する	・																																																			
				<p>5 塗膜改修工事</p> <p>6 内装改修工事</p>																																																			
<table border="1"> <tr> <td colspan="4">工事名称</td> <td>尺度</td> </tr> <tr> <td colspan="4">福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事</td> <td>S = No scale</td> </tr> <tr> <td colspan="4">図面名称</td> <td>縮尺率</td> </tr> <tr> <td colspan="4">建築改修工事特記仕様書 No-3</td> <td>図面No</td> </tr> <tr> <td colspan="4" rowspan="3">  福山市建設局建築部営繕課 </td> <td>A1=100%</td> </tr> <tr> <td>A2=71%</td> </tr> <tr> <td>A3=50%</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> </table>					工事名称				尺度	福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事				S = No scale	図面名称				縮尺率	建築改修工事特記仕様書 No-3				図面No	 福山市建設局建築部営繕課				A1=100%	A2=71%	A3=50%				3	14																			
工事名称				尺度																																																			
福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事				S = No scale																																																			
図面名称				縮尺率																																																			
建築改修工事特記仕様書 No-3				図面No																																																			
 福山市建設局建築部営繕課				A1=100%																																																			
				A2=71%																																																			
				A3=50%																																																			
			3	14																																																			

⑦ 建築改修工事	○ 材料	<p>屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>防火材料</p> <p>※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</p> <p>・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p>																																																																												
	○ 下地調整	<p>塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]</p> <p>○ 図示による</p> <p>[7.2.3~7.2.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RA種 ・ RB種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>[7.3.2~7.3.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td></td> <td>※ C種 ・ A種 ・ B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種 ・ C種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプaster面</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	下地の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修	木部	※ R種	-	-	鉄鋼面	※ R種	-	-	亜鉛めっき鋼面	※ R種	-	-	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	-	-	モルタル、プaster面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	-	・ 行う ・ 行わない	せつこうボード面及びその他ボード面	※ R種	-	-	下地面等	塗料の種類	塗替え	新規	木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種	-		透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種	-	鉄鋼面 (DP以外)		※ C種 ・ A種 ・ B種	-	鉄鋼面 (DP)		※ B種 ・ A種 ・ C種	-	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	-	モルタル面及びプaster面		※ B種 ・ A種	-	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種 ・ A種	-	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		※ B種 ・ A種	-	せつこうボード面及びその他ボード面		※ B種 ・ A種	-
	下地の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修																																																																										
	木部	※ R種	-	-																																																																										
	鉄鋼面	※ R種	-	-																																																																										
	亜鉛めっき鋼面	※ R種	-	-																																																																										
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	-	-																																																																										
	モルタル、プaster面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																										
	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																										
	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																										
せつこうボード面及びその他ボード面	※ R種	-	-																																																																											
下地面等	塗料の種類	塗替え	新規																																																																											
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種	-																																																																											
	透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種	-																																																																											
鉄鋼面 (DP以外)		※ C種 ・ A種 ・ B種	-																																																																											
鉄鋼面 (DP)		※ B種 ・ A種 ・ C種	-																																																																											
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	-																																																																											
モルタル面及びプaster面		※ B種 ・ A種	-																																																																											
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種 ・ A種	-																																																																											
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		※ B種 ・ A種	-																																																																											
せつこうボード面及びその他ボード面		※ B種 ・ A種	-																																																																											
○ 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2~7.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗料の種類</th> <th>塗替え</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>As種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td>錆止め塗料のまま (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え掛り</td> <td>As種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>As種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※ Bs種 ・ As種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート面</td> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ) (b)による。</td> <td>・ B種 (下地調整R種) ・ C種 (下地調整RC種)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ) (a)による。</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※ Az種 ・ Bz種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>※ Az種 ・ Bz種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>C種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>※ Az種 ・ Bz種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>Bz種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>Bz種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	素地面	塗料の種類	塗替え	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP	塗替え	As種	※ C種	錆止め塗料のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	As種	※ A種		新規見え隠れ	As種	※ B種	EP-G	塗替え	※ Bs種 ・ As種	※ C種	コンクリート面	DP	塗替え	7.4.2(1)(イ) (b)による。	・ B種 (下地調整R種) ・ C種 (下地調整RC種)		新規	7.4.2(1)(イ) (a)による。	・ A種	SOP	塗替え	※ Az種 ・ Bz種	※ C種		新規	※ Az種 ・ Bz種	※ B種	亜鉛めっき鋼面	EP-G	塗替え	C種	※ C種		新規	※ Az種 ・ Bz種	※ A種	DP	塗替え	Bz種	※ B種		新規	Bz種	-																					
素地面	塗料の種類	塗替え	塗料の種類	工程の種類																																																																										
鉄鋼面	SOP	塗替え	As種	※ C種																																																																										
	錆止め塗料のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	As種	※ A種																																																																										
		新規見え隠れ	As種	※ B種																																																																										
	EP-G	塗替え	※ Bs種 ・ As種	※ C種																																																																										
コンクリート面	DP	塗替え	7.4.2(1)(イ) (b)による。	・ B種 (下地調整R種) ・ C種 (下地調整RC種)																																																																										
		新規	7.4.2(1)(イ) (a)による。	・ A種																																																																										
	SOP	塗替え	※ Az種 ・ Bz種	※ C種																																																																										
		新規	※ Az種 ・ Bz種	※ B種																																																																										
亜鉛めっき鋼面	EP-G	塗替え	C種	※ C種																																																																										
		新規	※ Az種 ・ Bz種	※ A種																																																																										
	DP	塗替え	Bz種	※ B種																																																																										
		新規	Bz種	-																																																																										
○ 塗装	<p>[7.5.2~7.13.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">合成樹脂顔料含ベイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装の種類 ※ 1種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※ 2種</td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級 (3) 級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)</td> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>ビグメントステイン塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>木材保護塗料塗り (MP)</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしめ止め</p> <p>※ 改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンベイント塗りの塗替えの場合のしめ止め</p> <p>※ 改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用しない 適用する (着色剤: ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する 適用しない 	塗装の種類	塗装面	塗替え	新規	合成樹脂顔料含ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種	木部屋内	※ B種	※ B種	塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※ A種	※ B種	※ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種	クリヤラッカー塗り (CL)	※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	-	-	上塗り等級 (3) 級	-	-	○ 耐候性塗料塗り (DP)	亜鉛めっき鋼面	-	-	上塗り等級 () 級	-	-	つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	屋内の木部	※ B種	※ A種	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種	合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種	ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※ B種	※ B種 ・ A種	ビグメントステイン塗り				木材保護塗料塗り (MP)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種																
塗装の種類	塗装面	塗替え	新規																																																																											
合成樹脂顔料含ベイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種																																																																											
	木部屋内	※ B種	※ B種																																																																											
塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																											
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※ A種	※ B種																																																																											
※ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種																																																																											
	クリヤラッカー塗り (CL)	※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種																																																																											
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	-	-																																																																											
	上塗り等級 (3) 級	-	-																																																																											
○ 耐候性塗料塗り (DP)	亜鉛めっき鋼面	-	-																																																																											
	上塗り等級 () 級	-	-																																																																											
つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G)	屋内の木部	※ B種	※ A種																																																																											
	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種																																																																											
合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP)	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種																																																																											
	ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																											
ビグメントステイン塗り																																																																														
木材保護塗料塗り (MP)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種																																																																											

⑧ 建築改修工事	○ 石綿含有建材の除去工事	<p>当該工事無しのため記載を省略</p> <p>[9.1.1]</p> <p>○ 図示による</p> <p>石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 [9.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) 除去対象範囲 除去方法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(ア)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ・ 圓形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>石綿含有保温材等の除去 [9.1.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 除去方法 ※ 原形のまま、手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ・ 圓形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>○石綿含有成形板等の除去 [9.1.5]</p> <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 ・ 図示による ○ 雨樋検査 シーリング材 隔離養生 (負圧不要) 方法 ・ 図示による 足場 ・ 図示による 除去した石綿含有成形板等の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>石綿含有仕上塗材の除去 [9.1.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> 除去対象範囲 ・ 図示による 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ○ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ・ 汚泥としての処理 <p>外断熱改修工事 [9.2.2]</p> <p>断熱材</p> <p>断熱材の種類</p> <p>断熱材の厚さ (mm)</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>既存外壁の処置 [9.2.3]</p> <p>既存外壁仕上材の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり ・ なし <p>下地の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>欠損部の改修工事</p> <p>工法 [9.2.4]</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>不陸等の下地調整</p> <p>断熱材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱材製造所の仕様による <p>外装材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外装材製造所の仕様による <p>通気層の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり (mm) ・ なし <p>外装材の外壁への取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による 	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																	種類	防火性能	備考						
	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																											
	種類	防火性能	備考																												

⑨ 建築改修工事	断熱・防露改修工事 [9.3.2]	<p>断熱材打込み工法</p> <p>断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</p> <p>種類</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>断熱材現場発泡工法 [9.3.3]</p> <p>断熱材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種1 ・ A種1H <p>吹付け厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 25 ・ 30 <p>断熱材後張り工法 [9.3.4]</p> <p>断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</p> <p>種類</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネル</p> <p>材質</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 ()</p> <p>断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 ()</p>												
	屋上緑化改修工事 [9.4.2]	<p>材料</p> <p>芝及び地被類の種類等</p> <p>※ 図示による</p> <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <p>※ 図示による</p> <p>工法 [9.4.3]</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <p>・ 図示による</p> <p>かん水装置</p> <p>・ 設置する (種類)</p> <p>既存保護層の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>新植した芝及び地被類の植植後の期間</p> <p>※ 引渡しの日から1年</p>												
	透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2]	<p>既存舗装の撤去及び再利用</p> <p>※ 図示による</p> <p>路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>路床安定処理</p> <p>安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 <p>路床安定処理用追加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) <p>試験</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない 	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による
	種別	材料	厚さ (mm)											
	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による											
	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による											
	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による											
	路盤 [9.5.4]	<p>路盤の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>路盤材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 著しい不陸がないもの <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 [9.5.9]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない 												

工事名称	福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-4	尺度 S = No scale
縮尺率	A1=100%	図面No
	A2= 71%	4
	A3= 50%	14



名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理				D 浮き部処理			
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.5]		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超 [4.2.6]		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.6]		B-4 モルタル面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]		B-5 モルタル面全体樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]			
改修前	改修後																
工程		<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 *部分)</p> <p>②水洗い (15Mpa程度)</p> <p>③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 4.7㎡(南棟校舎) 設計数量: 1.8㎡(倉庫①)</p> <p>設計数量: 9.1㎡(渡り廊下①) 設計数量: 1.8㎡(倉庫②)</p> <p>設計数量: 9.3㎡(体育倉庫)</p>		<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 *部分)</p> <p>②水洗い (15Mpa程度)</p> <p>③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 19.0㎡(南棟校舎)</p> <p>設計数量: 3.1㎡(渡り廊下①)</p>		<p>①サンダーケレン</p> <p>②ひび割れ部シール</p> <p>③エポキシ樹脂注入</p> <p>④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0) m</p> <p>ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0) m</p> <p>()内は単動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ部Uカット</p> <p>②水洗い (15Mpa程度)</p> <p>③シーリング材打放</p> <p>④Uカット部埋戻し (ポリアセメントモルタル)</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 0.0 m</p>		<p>①ひび割れ部Uカット</p> <p>②水洗い (15Mpa程度)</p> <p>③現土下層エポキシ樹脂充てん後付けい砂</p> <p>④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 0.0 m</p>		<p>①サンダーケレン</p> <p>②ひび割れ部シール</p> <p>③エポキシ樹脂注入</p> <p>④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0) m</p> <p>ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0) m</p> <p>()内は単動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ部モルタルカッター切り</p> <p>②モルタル除去</p> <p>③ひび割れ部シール</p> <p>④エポキシ樹脂注入</p> <p>⑤埋戻し</p> <p>⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 0.0 m</p>			
改修前	改修後																
工程		<p>①ひび割れ部Uカット</p> <p>②水洗い (15Mpa程度)</p> <p>③シーリング材打放</p> <p>④Uカット部埋戻し (ポリアセメントモルタル)</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>設計数量: 8.9㎡(南棟校舎)</p> <p>設計数量: 4.6㎡(渡り廊下)</p>		<p>①ひび割れ部Uカット</p> <p>②水洗い (15Mpa程度)</p> <p>③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂</p> <p>④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 0.0 m</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。</p>		<p>①錆鉄筋周辺のはつり</p> <p>②水洗い (15Mpa程度)</p> <p>③水洗い (15Mpa程度)</p> <p>④防錆処理</p> <p>⑤はつり部埋戻し整形</p> <p>⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 22.8㎡(南棟校舎)</p> <p>設計数量: 11.7㎡(渡り廊下)</p>		<p>①カッター縁切り</p> <p>②浮き部のはつり</p> <p>③錆落とし</p> <p>④水洗い (15Mpa程度)</p> <p>⑤防錆処理</p> <p>⑥はつり部埋戻し整形</p> <p>⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 0.0 m</p>		<p>①カッター縁切り</p> <p>②浮き部のはつり</p> <p>③水洗い (15Mpa程度)</p> <p>④はつり部埋戻し整形</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: 0.0 m</p>							
名称		D 浮き部処理				D 浮き部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.11]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.9]		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.12]		D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.10]		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.14]		D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.12]					
改修前	改修後																
工程		<p>①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所</p> <p>③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所</p> <p>④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所</p> <p>設計数量: ①一般部分: [タイル面] 7.7㎡ [タイル面] 0.0㎡ (南棟校舎) ②指定部分: 0.0㎡ ③幅幅部: 29.9m</p> <p>設計数量: ①一般部分: [タイル面] 3.5㎡ [タイル面] 0.0㎡ (渡り廊下①) ②指定部分: 0.0㎡ ③幅幅部: 15.4m</p>		<p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所</p> <p>⑥サンダーケレン</p> <p>⑦水洗い (15Mpa程度)</p> <p>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。</p>		<p>①一般部分標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③幅幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>●アンカーピン固定部</p>		<p>①c'固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>③エポキシ樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>設計数量: ①一般部分: 0.0㎡ ②指定部分: 0.0㎡ ③幅幅部: 0.0m</p>		<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (100×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>●アンカーピン固定部</p> <p>●注入口</p>		<p>①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥サンダーケレン</p> <p>⑦水洗い (15Mpa程度)</p> <p>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。</p>		<p>①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>●注入口付アンカーピン固定部</p>			
名称		D 浮き部処理				D 浮き部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリアセメントスラリー注入工法 [4.3.13]		D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリアセメントスラリー注入工法 [4.4.11]		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.14]		D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.12]		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.14]		D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.12]					
改修前	改修後																
工程		<p>①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>③エポキシ樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>設計数量: ①一般部分: 0.0㎡ ②指定部分: 0.0㎡ ③幅幅部: 0.0m</p>		<p>⑥注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</p> <p>⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p>		<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>●アンカーピン固定部</p> <p>●注入口</p>		<p>①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥サンダーケレン</p> <p>⑦水洗い (15Mpa程度)</p> <p>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。</p>		<p>①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>●注入口付アンカーピン固定部</p>		<p>設計数量: ①一般部分: 0.0㎡ ②指定部分: 0.0㎡ ③幅幅部: 0.0m</p>					
<p>工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事</p> <p>縮尺率 A1=100% A2=71% A3=50%</p> <p>縮尺率 S = No scale</p> <p>縮尺率 5</p>												<p>福山市建設局建築部営繕課</p>					

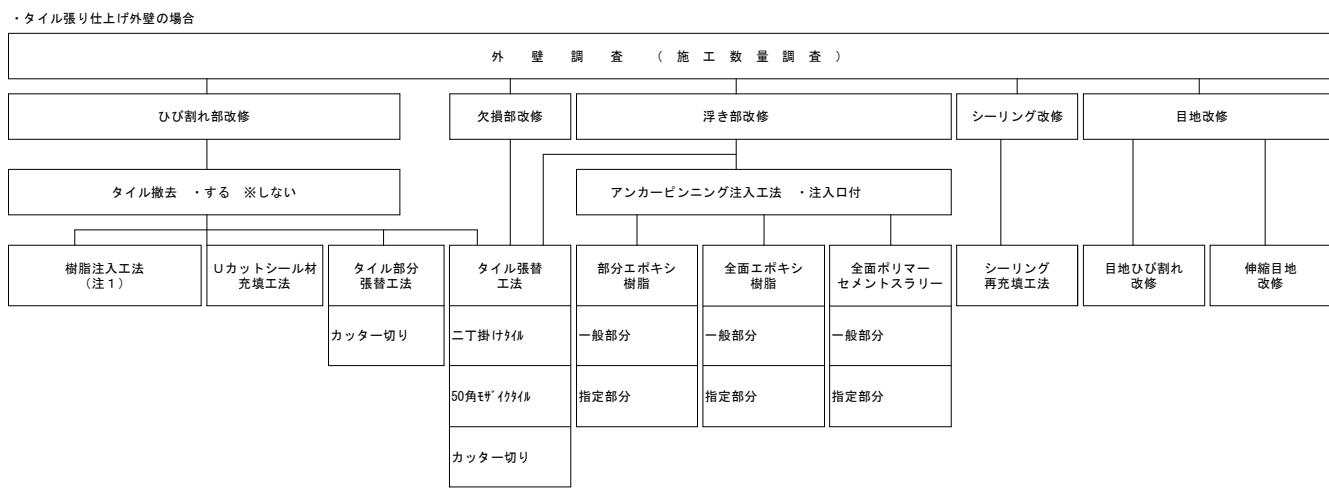
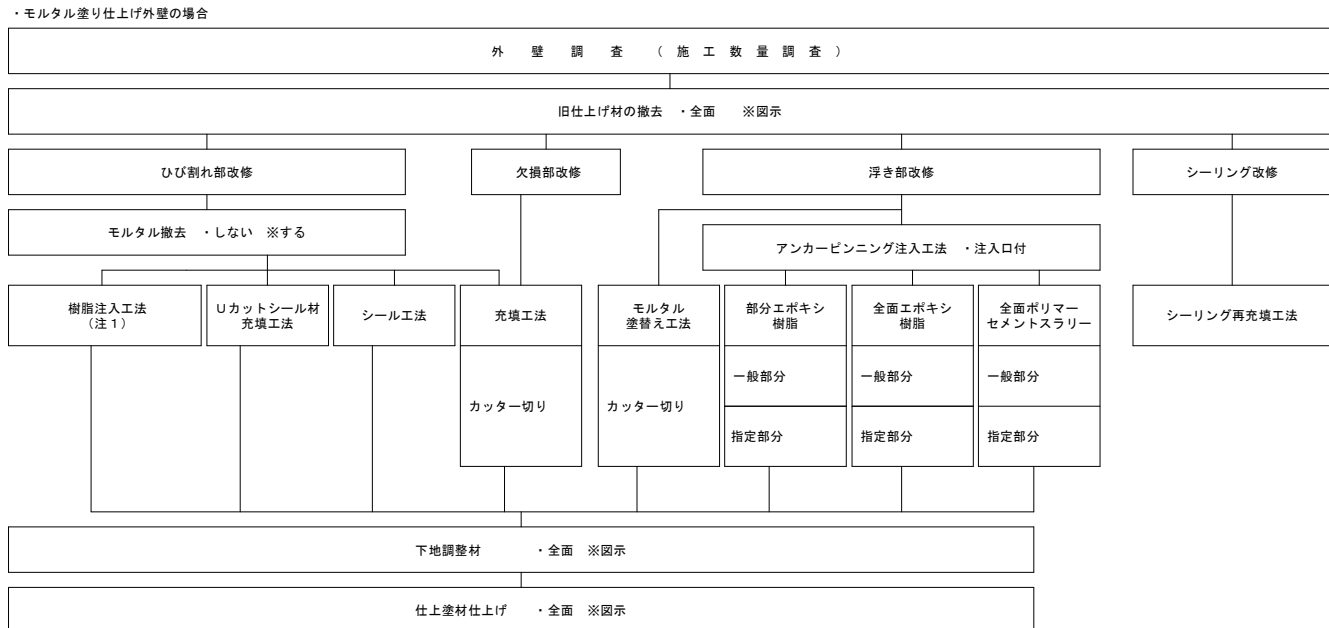
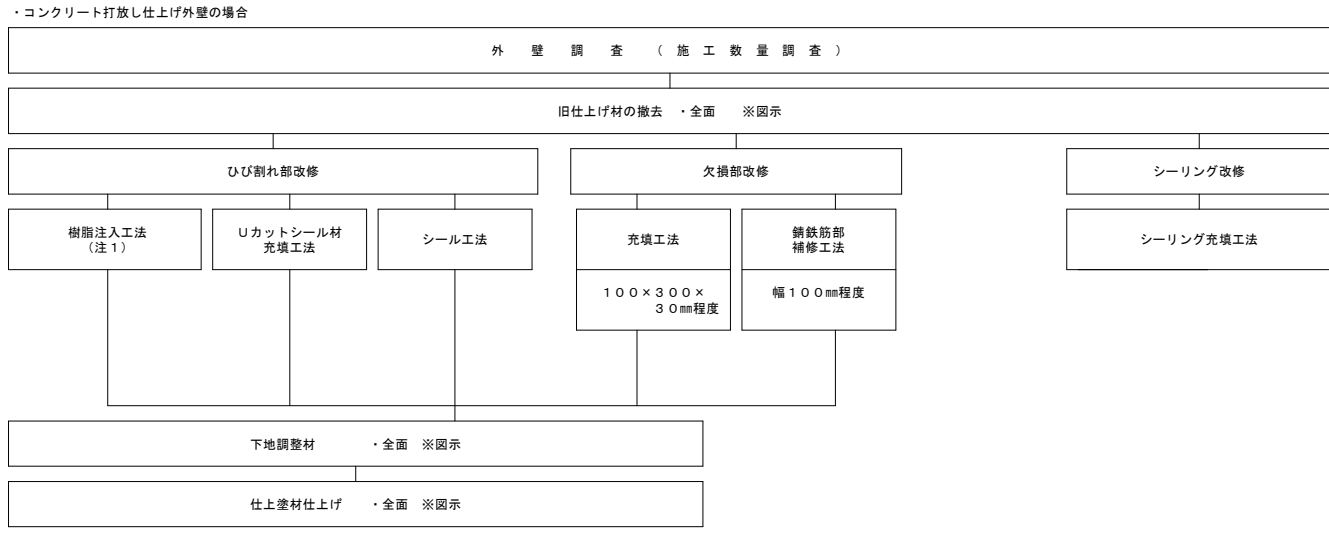
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.13]	
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サダーケレン ⑪水洗い (15Pa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-6' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m² ②指定部分： 0.0 m² ③幅幅部： 0.0 m</p>	<p>①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③幅幅部 (幅20.0mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>※注入口付アンカーピン固定部 ※注入口</p>

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ	D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [4.4.15]
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [※'ワ-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [※'ワ-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サダーケレン ⑪水洗い (15Pa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-7' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m² ②指定部分： 0.0 m² ③幅幅部： 0.0 m</p>	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入口付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>設計数量： 0.0 m²</p>

名称	E 欠損部処理	
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [4.2.8]	E-2 打放し面欠損部処理 [4.2.3]
改修前		
改修後		
工程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②水洗い (15Pa程度) ③欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ・※'セ樹脂パテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量： 0.0 m²</p>	<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③水洗い (15Pa程度) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'ワ-セメントパテ・※'セ樹脂パテ] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑤の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量： 0.0 m²</p>

名称	F 外壁複合改修工法													
記号・仕様	F 外壁複合改修工法													
改修前														
改修後														
工程	<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p>	<table border="1"> <tr> <td>設計数量</td> <td>ネット張り</td> <td>303 m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>118 m</td> </tr> <tr> <td>設計数量</td> <td>ネット張り</td> <td>61.1 m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>36.1 m</td> </tr> </table>	設計数量	ネット張り	303 m ²		水切	118 m	設計数量	ネット張り	61.1 m ²		水切	36.1 m
設計数量	ネット張り	303 m ²												
	水切	118 m												
設計数量	ネット張り	61.1 m ²												
	水切	36.1 m												

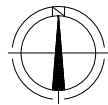
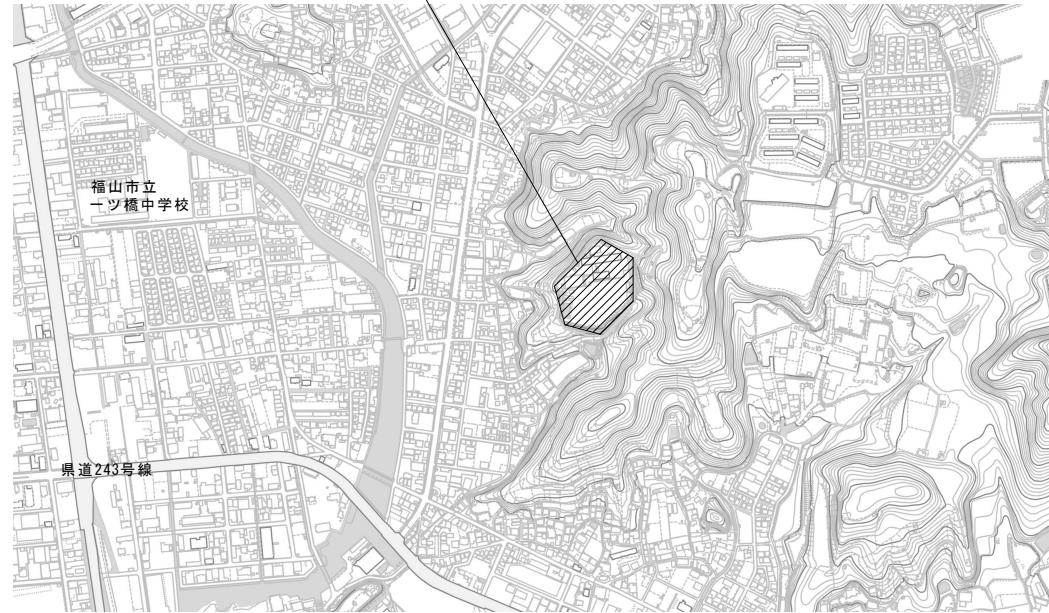
外壁改修フロー図



(注1) 樹脂注入工法の工法の種類を示す

工事名称	福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-6	尺度 S = No scale
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	6
	A2=71%	

工事場所
引野町5401番地



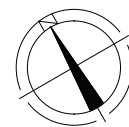
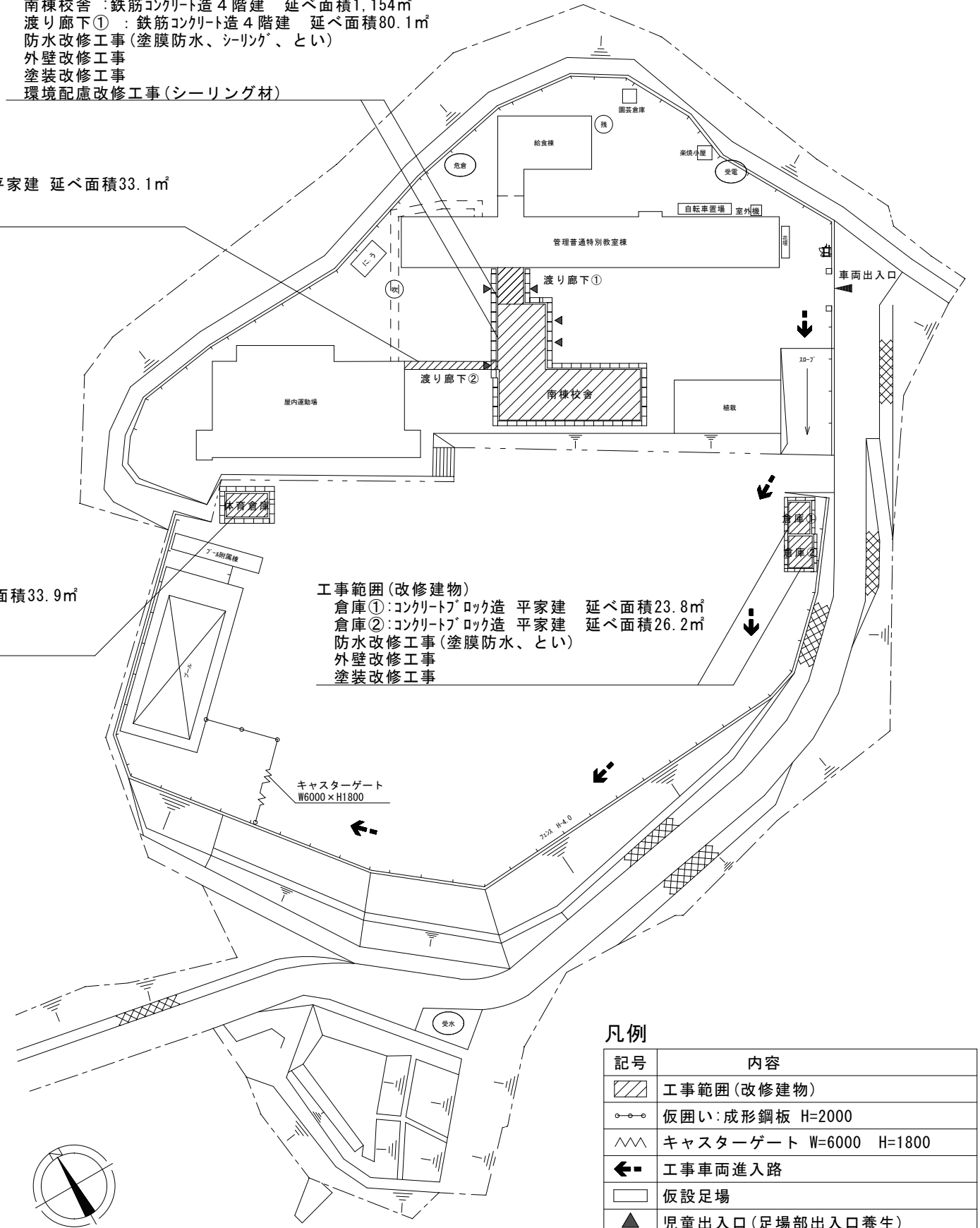
敷地案内図 NoScale

工事範囲(改修建物)
南棟校舎：鉄筋コンクリート造 4階建 延べ面積1,154㎡
渡り廊下①：鉄筋コンクリート造 4階建 延べ面積80.1㎡
防水改修工事(塗膜防水、シーリング、とい)
外壁改修工事
塗装改修工事
環境配慮改修工事(シーリング材)

工事範囲(改修建物)
渡り廊下②：鉄骨造 平家建 延べ面積33.1㎡
防水改修工事(とい)
塗装改修工事

工事範囲(改修建物)
体育倉庫：鉄筋コンクリート造 平家建 延べ面積33.9㎡
防水改修工事(塗膜防水、とい)
外壁改修工事
塗装改修工事

工事範囲(改修建物)
倉庫①：コンクリートブロック造 平家建 延べ面積23.8㎡
倉庫②：コンクリートブロック造 平家建 延べ面積26.2㎡
防水改修工事(塗膜防水、とい)
外壁改修工事
塗装改修工事



配置図 S=1/500

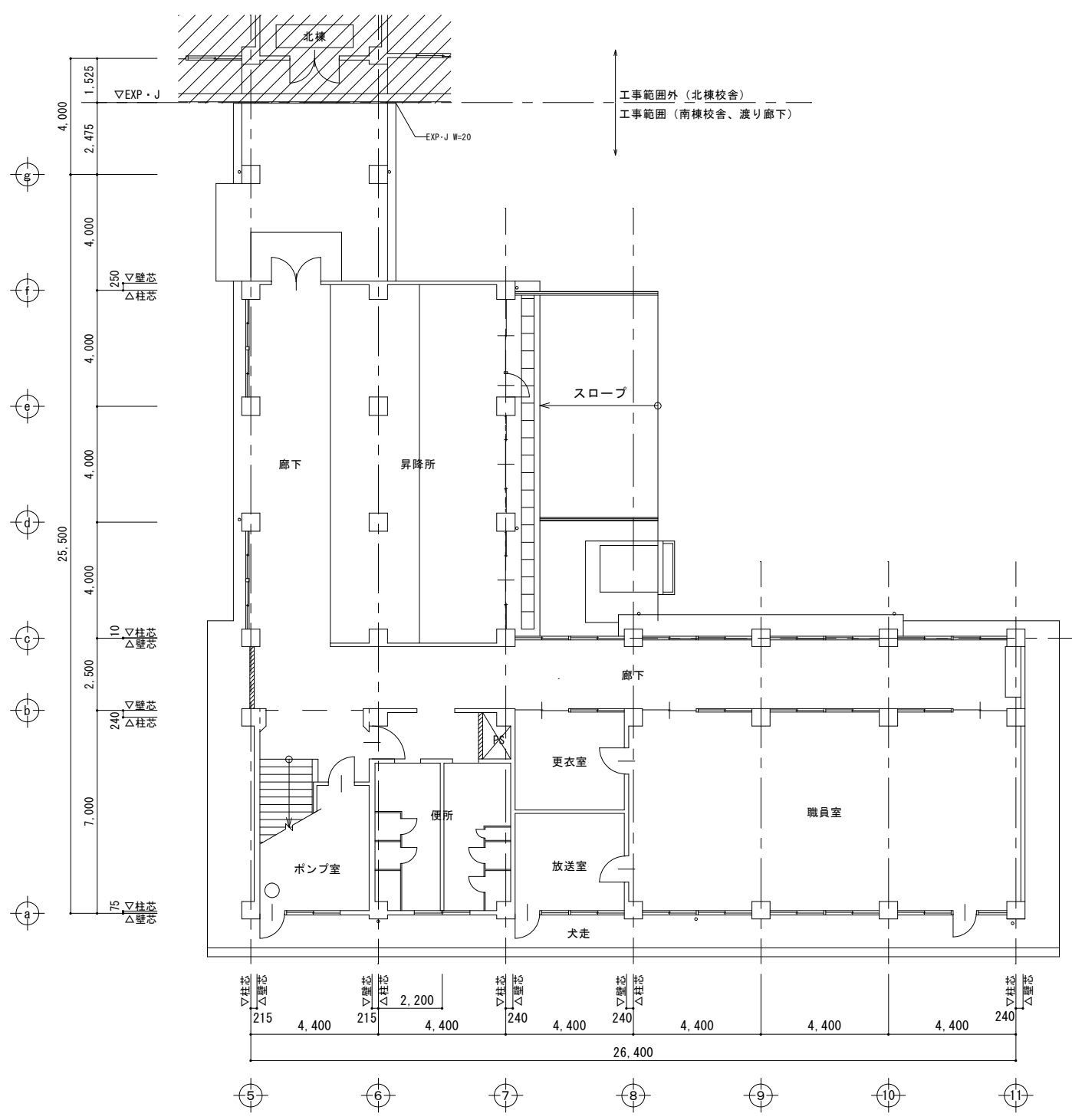
施工条件

- ① 工事車両出入口及び機器・資材搬入口は東側出入口とする。
- ② 仮囲いに設ける工事車両出入口はカスターゲート程度とし、通行時以外は常時閉鎖する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 既存施設を汚損させないよう養生等の対策を講ずること。既存部分を汚損した場合は速やかに監督員へ報告し、承諾を受けた後に復旧を行う。
- ⑤ 児童の移動が集中する時間帯(登下校時等)は工事車両及び資材の搬出入を避ける。
- ⑥ 工事車両の通行部分は、工事中及び工事完成時に地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設計画は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に学校関係者及び監督員と協議を行うとともに詳細な現地調査・搬出入路等の検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設足場(先行足場、階段共)には、防護シートを張り埃等の飛散を防ぐ。
- ⑨ 工事関係者以外の者を工事エリアに侵入させないために、仮設足場1段目には金網等(H=1,800程度)を設置し、施錠付きの出入口を設ける。
- ⑩ 昇降所等の建物出入口には、落下防止措置を講ずる。
- ⑪ 仮設足場解体後は、主任技術者が現地確認を行い、必要に応じて美装及び現状復旧を行う。
- ⑫ エアコンを使用できるように室外機を養生する。
- ⑬ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りする。

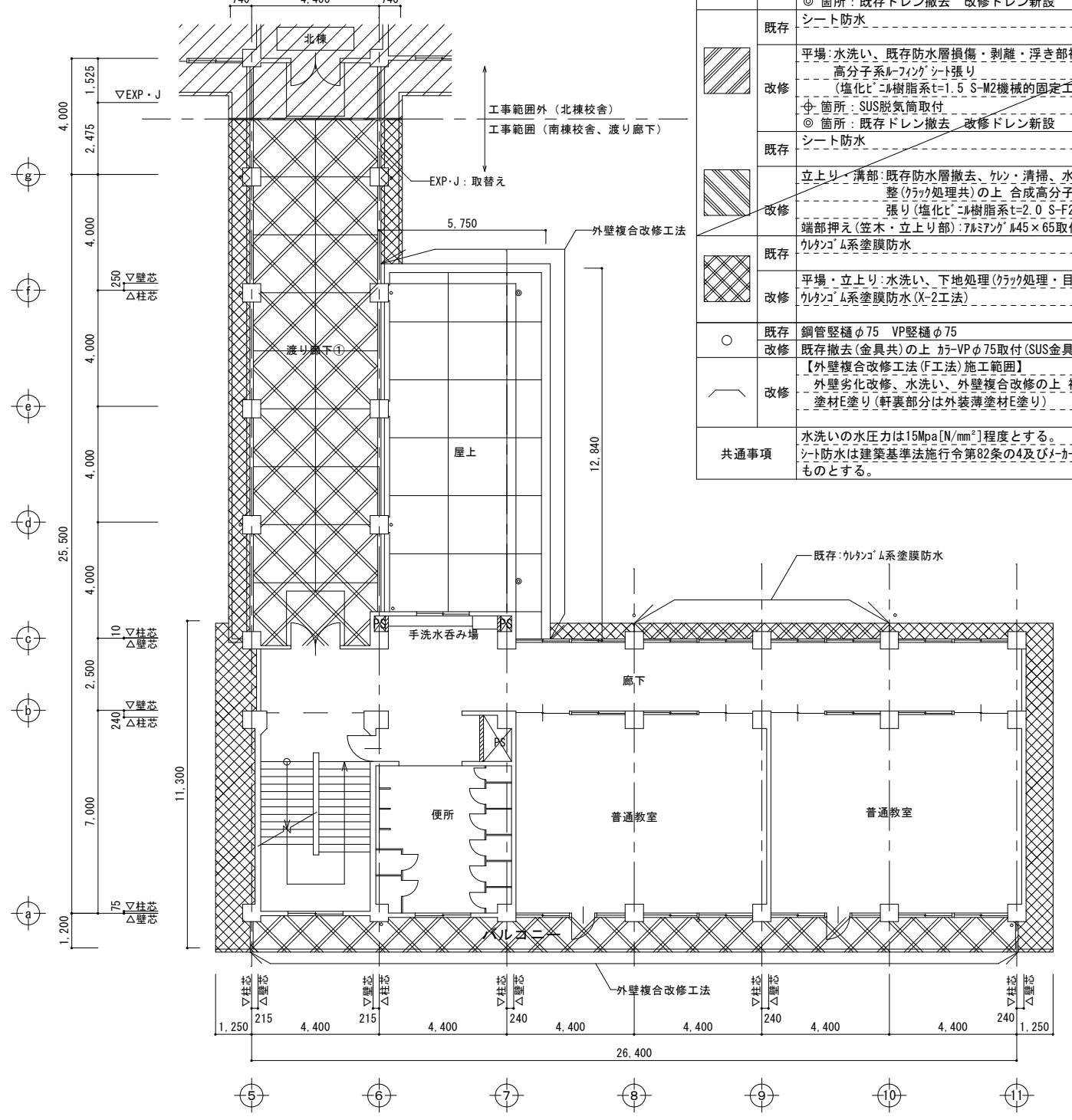
凡例

記号	内容
	工事範囲(改修建物)
	仮囲い：成形鋼板 H=2000
	カスターゲート W=6000 H=1800
	工事車両進入口
	仮設足場
	児童出入口(足場部出入口養生)

工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	尺度 S = 1/500
図面名称 敷地案内図・配置図	縮尺率 図面No A1=100% 7 A2= 71% 14 A3= 50%
	福山市建設局建築部営繕課



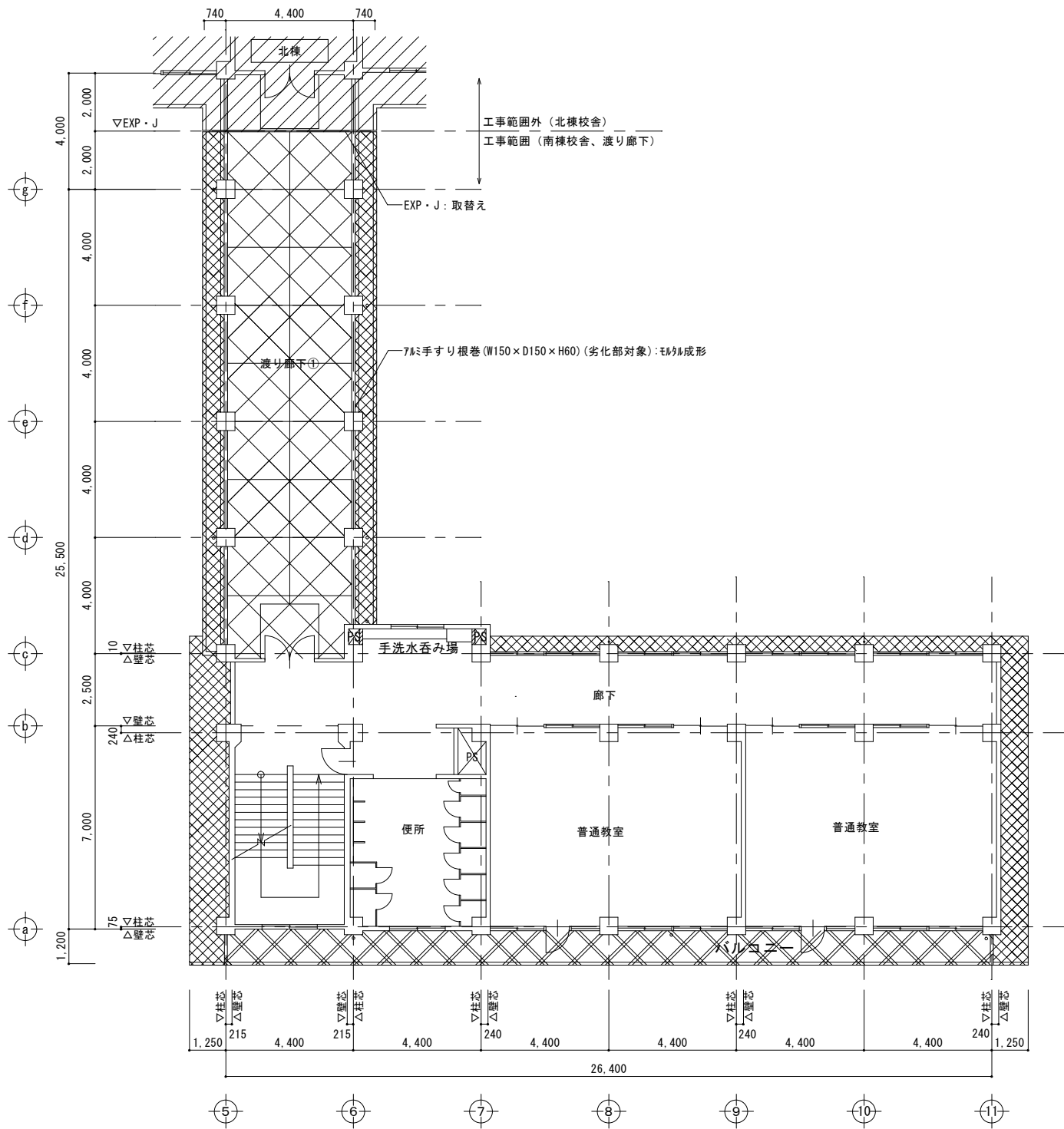
1階平面図 S=1/100



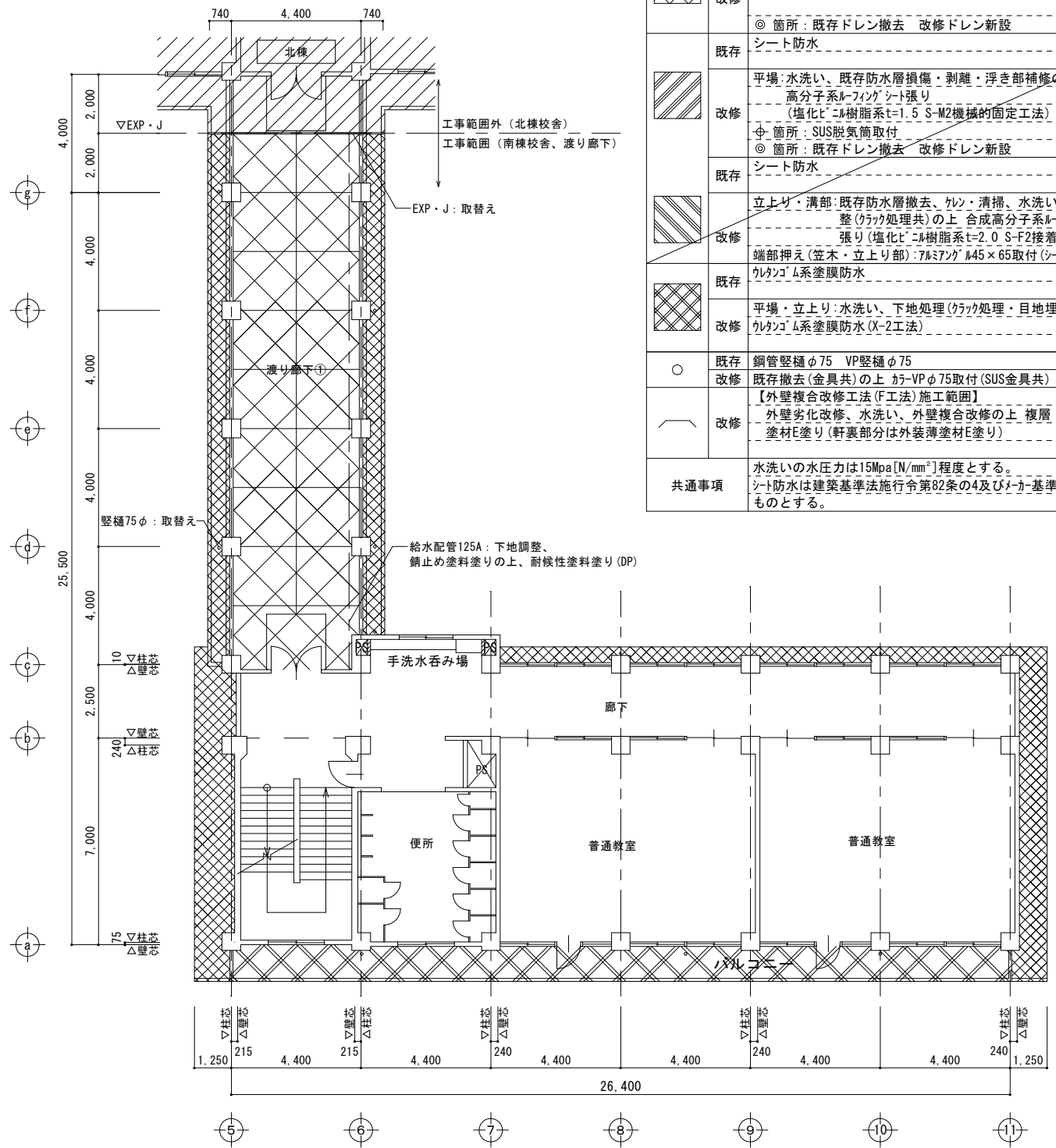
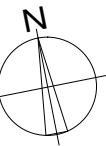
2階平面図 S=1/100

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(クラック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ
既存	シート防水
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系F-フイックシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
既存	シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去、クレン・清掃、水洗い、下地調 整(クラック処理共)の上 合成高分子系F-フイックシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法)
改修	端部押え(笠木・立上り部): F-フイック M45×65取付(シーリング仕舞)
既存	ウレタン系塗膜防水
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(クラック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法)
既存	鋼管縦樋φ75 VP縦樋φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 カラ-VPφ75取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びJIS-C-1101基準を満たす ものとする。

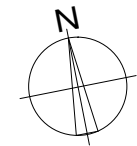
工事名称	福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称	1階・2階平面図	尺度 S = 1/100
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	8
	A2= 71%	14
		A3= 50%



3階平面図 S=1/100

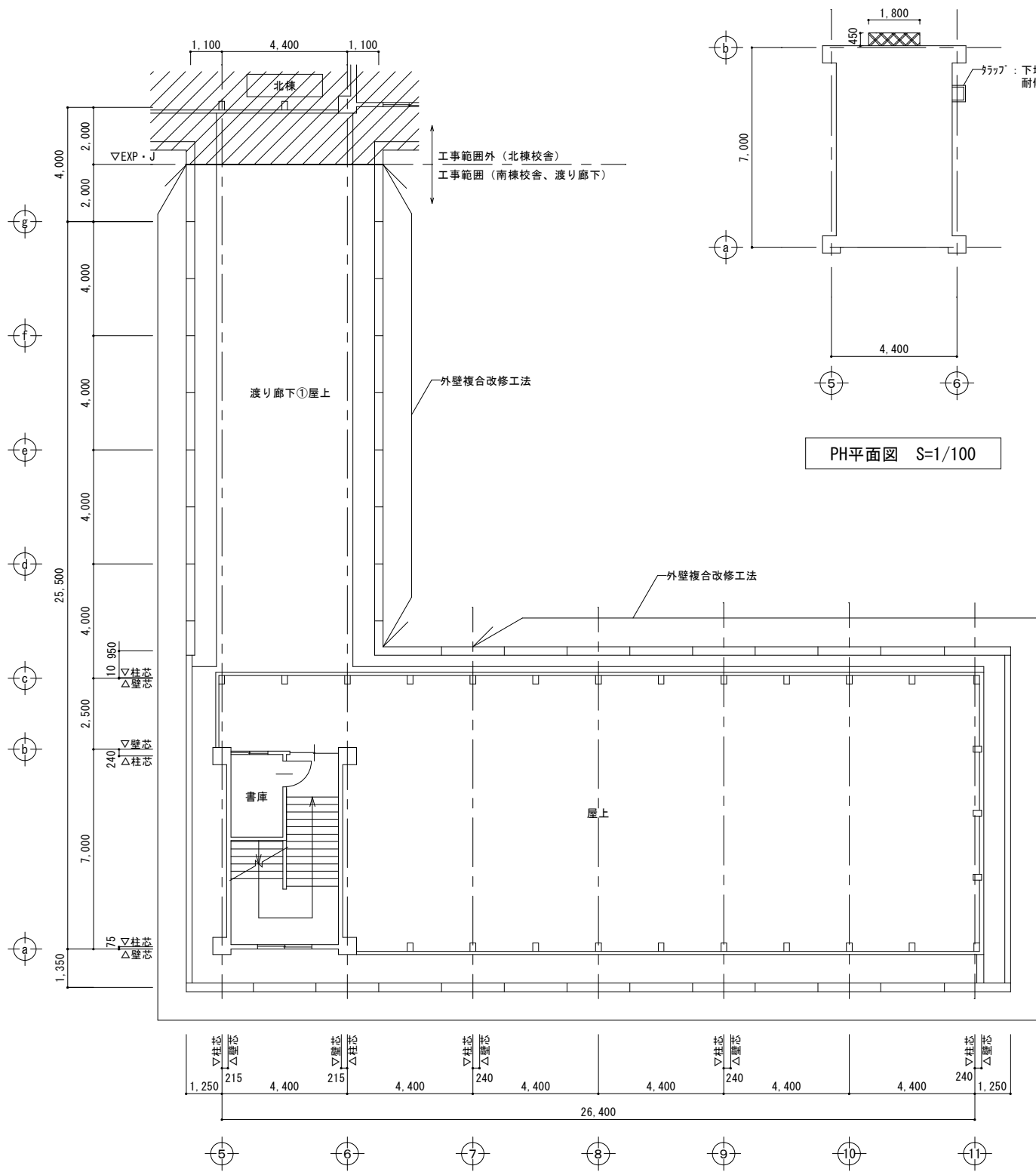


4階平面図 S=1/100

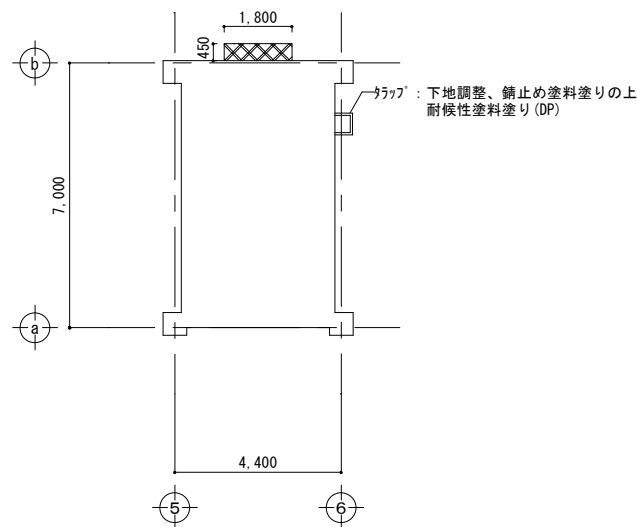


凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整 (クラック処理・目地埋め共) の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ
既存	シート防水
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系LPフイックシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
既存	シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去、クレン・清掃、水洗い、下地調 整 (クラック処理共) の上 合成高分子系LPフイックシート 張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法)
既存	ウレタン系塗膜防水
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整 (クラック処理・目地埋め共) の上 ウレタン系塗膜防水 (X-2工法)
既存	鋼管縦樋φ75 VP縦樋φ75
改修	既存撤去 (金具共) の上 カラVPφ75取付 (SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法 (F工法) 施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り (軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa [N/mm ²] 程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びJIS-C-1101を満足す ものとする。

工事名称	福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称	3階・4階平面図	尺度 S = 1/100
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	9
	A2= 71%	14

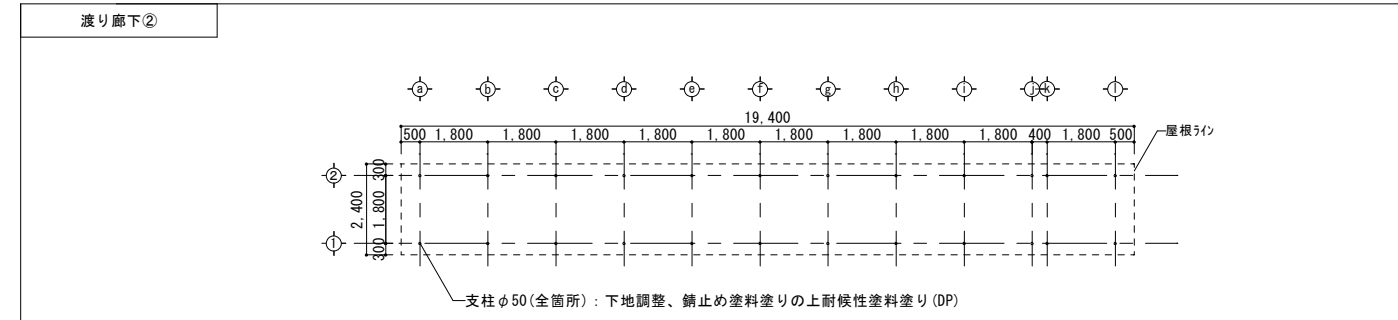


R階平面図 S=1/100

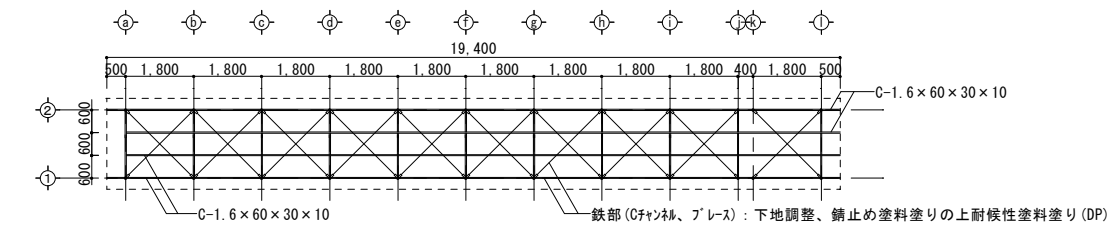


PH平面図 S=1/100

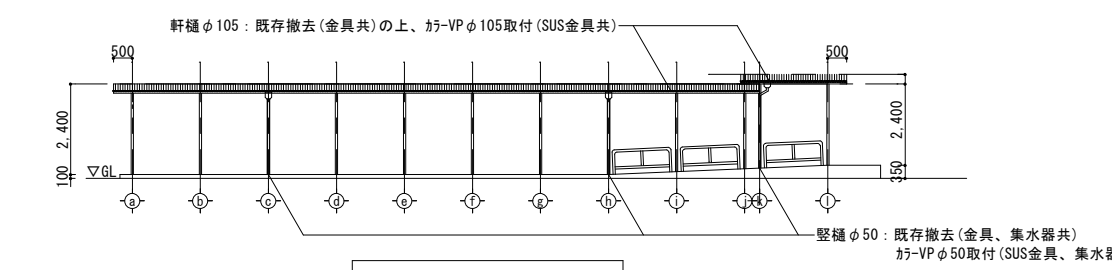
凡例	改修内容	凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え	○	既存 鋼管縦樋φ75 VP縦樋φ75
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(クラック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ	改修	既存撤去(金具共)の上 カ-VPφ75取付(SUS金具共)
改修	シート防水	改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系ルーフingシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)	共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びメーカー基準を満たす ものとする。
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去、カッ・清掃、水洗い、下地調 整(クラック処理共)の上 合成高分子系ルーフingシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法)		
改修	端部押え(笠木・立上り部): 7Ming L45×65取付(シーリング仕舞)		
改修	ウレタン系塗膜防水		
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(クラック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法)		



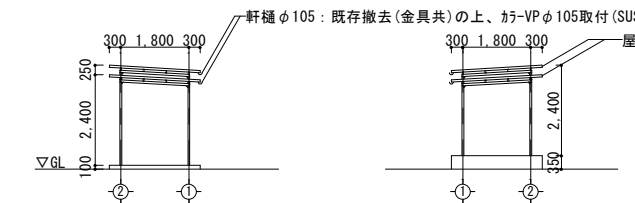
平面図 S=1/100



梁伏図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



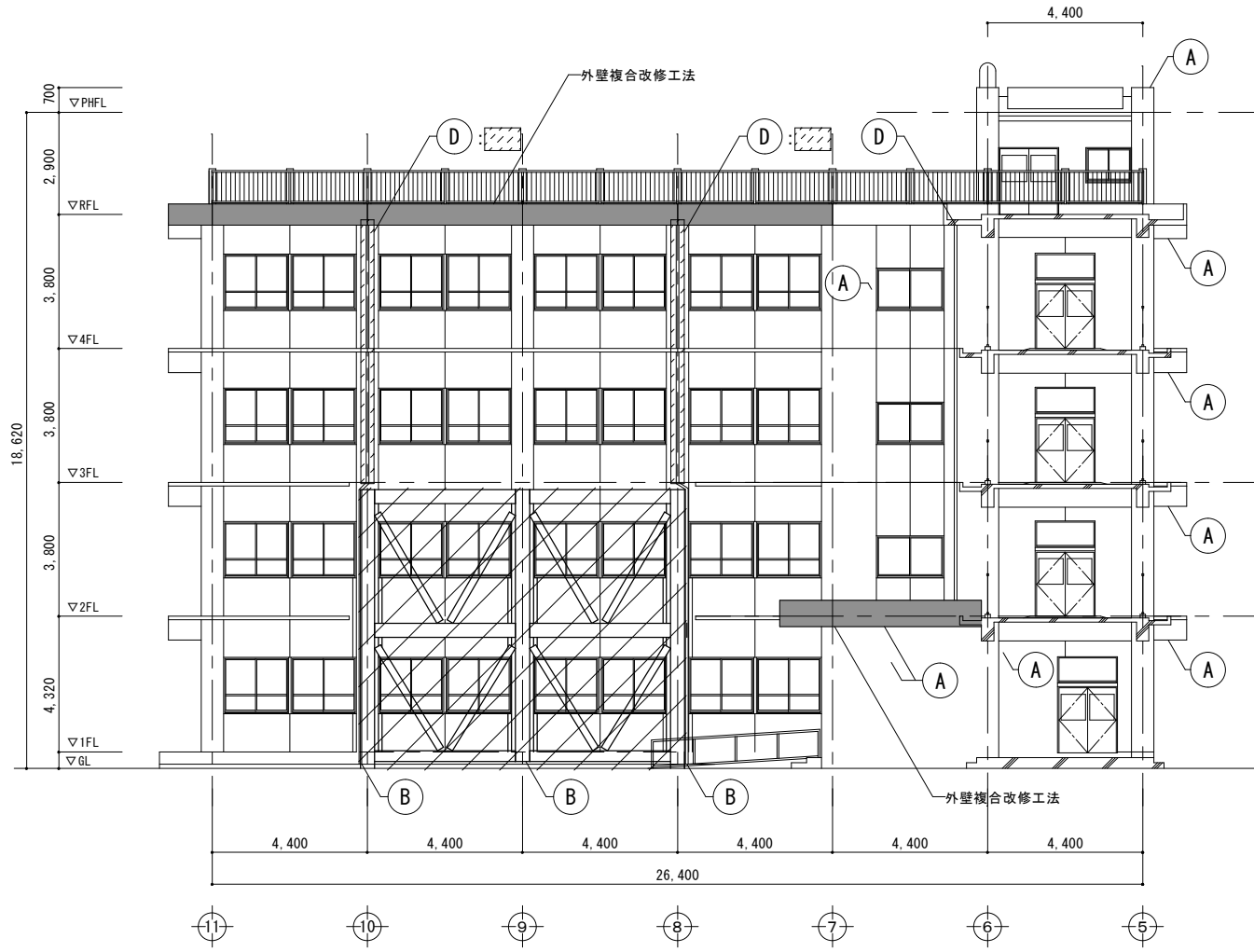
西側立面図 S=1/100

東側立面図 S=1/100

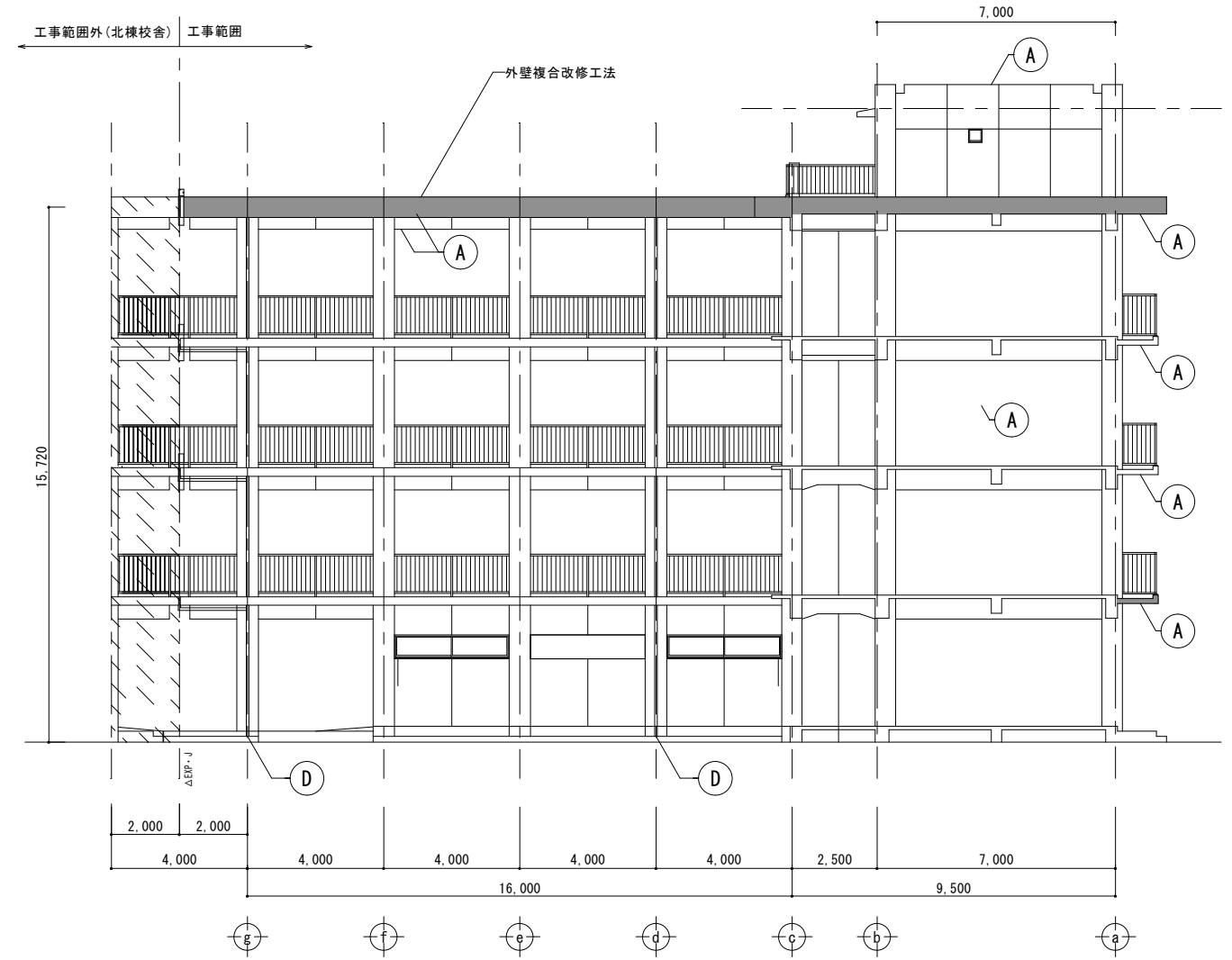
工事名称	福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事		
図面名称	R階・PH階平面図、渡り廊下②	尺度	S = 1/150
縮尺率	A1=100%	図面No	10/14
	A2=71%		
	A3=50%		
図面No	10	福山市建設局建築部営繕課	

凡例・共通事項

凡例	仕上り	凡例	仕上り
(A)	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り ■部:外壁複合改修工法(F工法)施工範囲	(D)	既存 縦樋:VPφ75 改修 既存撤去(金具共)の上 加φVPφ75取付(SUS金具共)
(B)	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装 改修 耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)		・建具周囲・水切端部:変成シリコン系シーリング(MS-2)15×10打替 ※石綿含有建材:既存シーリング(分析調査済) ・既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP) [対象]設備配管・換気口・ウエザーカバー・電気BOX・建具(両面 小口・枠共)・その他監督員が指示するもの ・基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と 思われる場合は監督員と協議する。
(C)	既存 外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付 改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り		



北側立面図 S=1/100

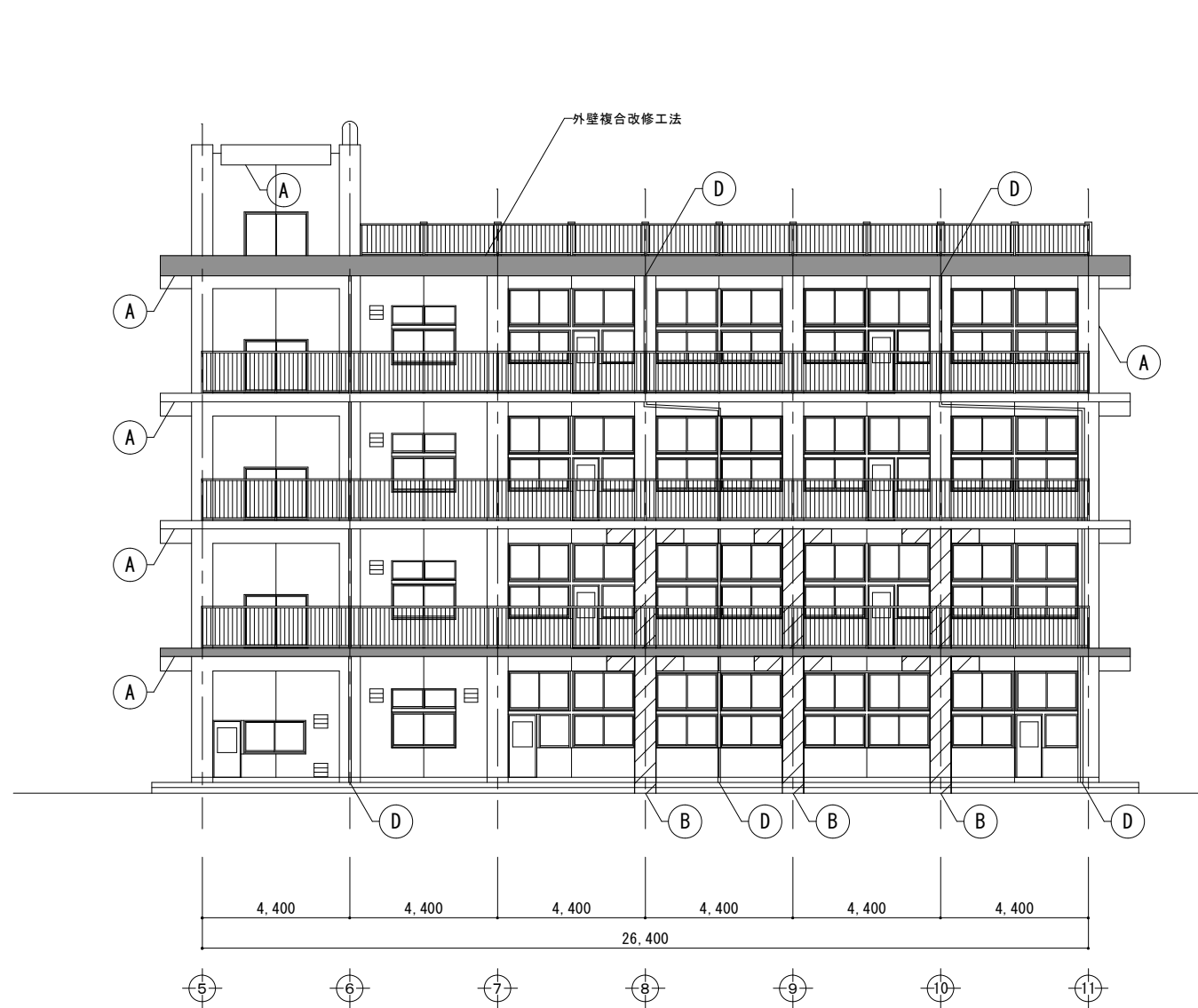


西側立面図 S=1/100

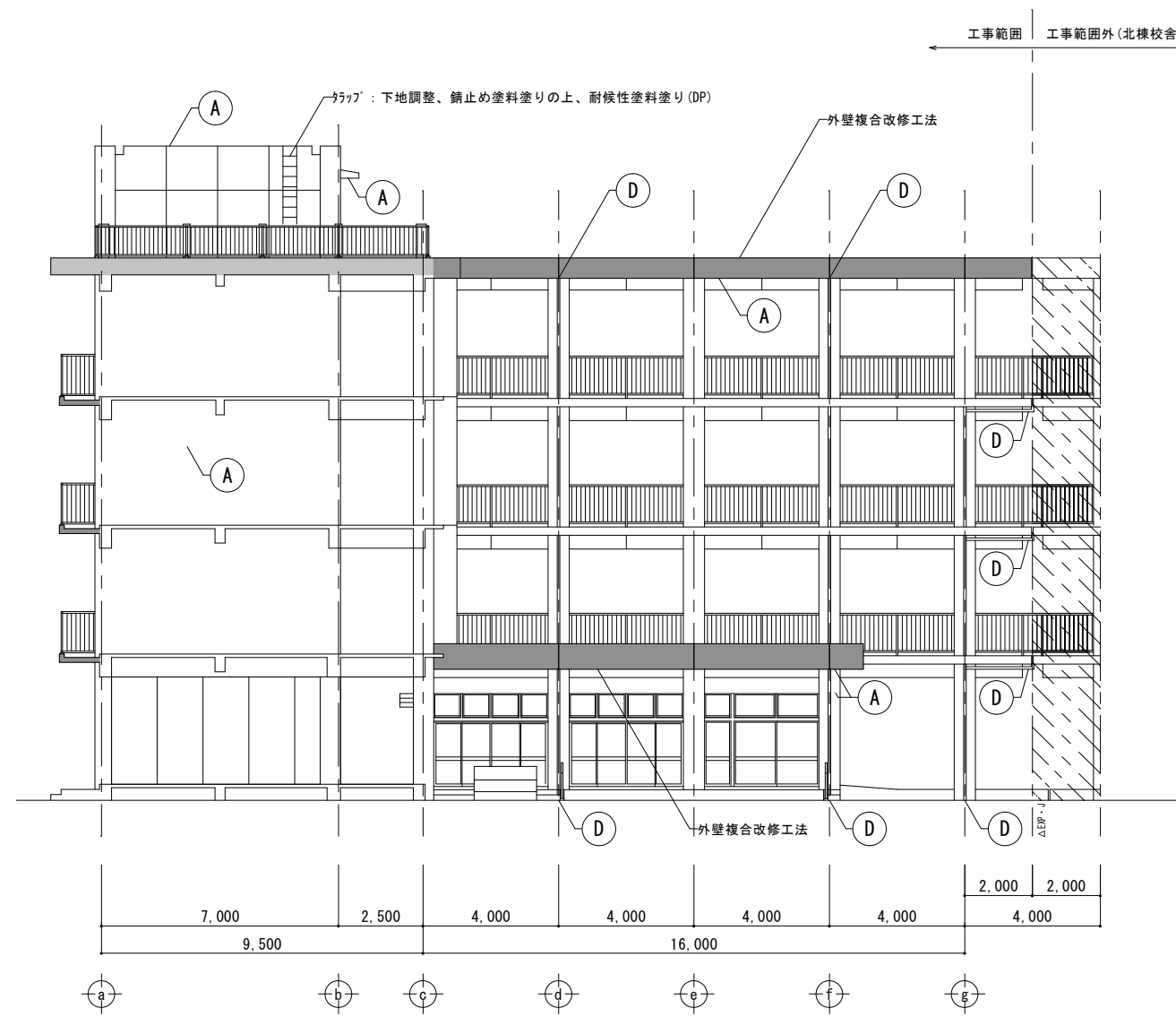
工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事		尺度 S = 1/100
立面名称 立面図(北側・西側)		縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
図面No 福山市建設局建築部営繕課		11 14

凡例・共通事項

凡例	仕上げ	凡例	仕上げ
Ⓐ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付	Ⓓ	既存 縦樋:VPφ75 改修 既存撤去(金具共)の上 カ-VPφ75取付(SUS金具共)
	改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り ■部:外壁複合改修工法(F工法)施工範囲		・建具周囲・水切端部:変成シリコン系シーリング(MS-2)15×10打替 ※石綿含有建材:既存シーリング(分析調査済) ・既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP) [対象]設備配管・換気口・ウエザ-カバー・電気BOX・建具(両面小口・枠共)・その他監督員が指示するもの ・基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。
Ⓑ	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装	Ⓔ	既存 耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ)
	改修 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)		
Ⓒ	既存 外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付	Ⓕ	既存 外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付
	改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り		改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り

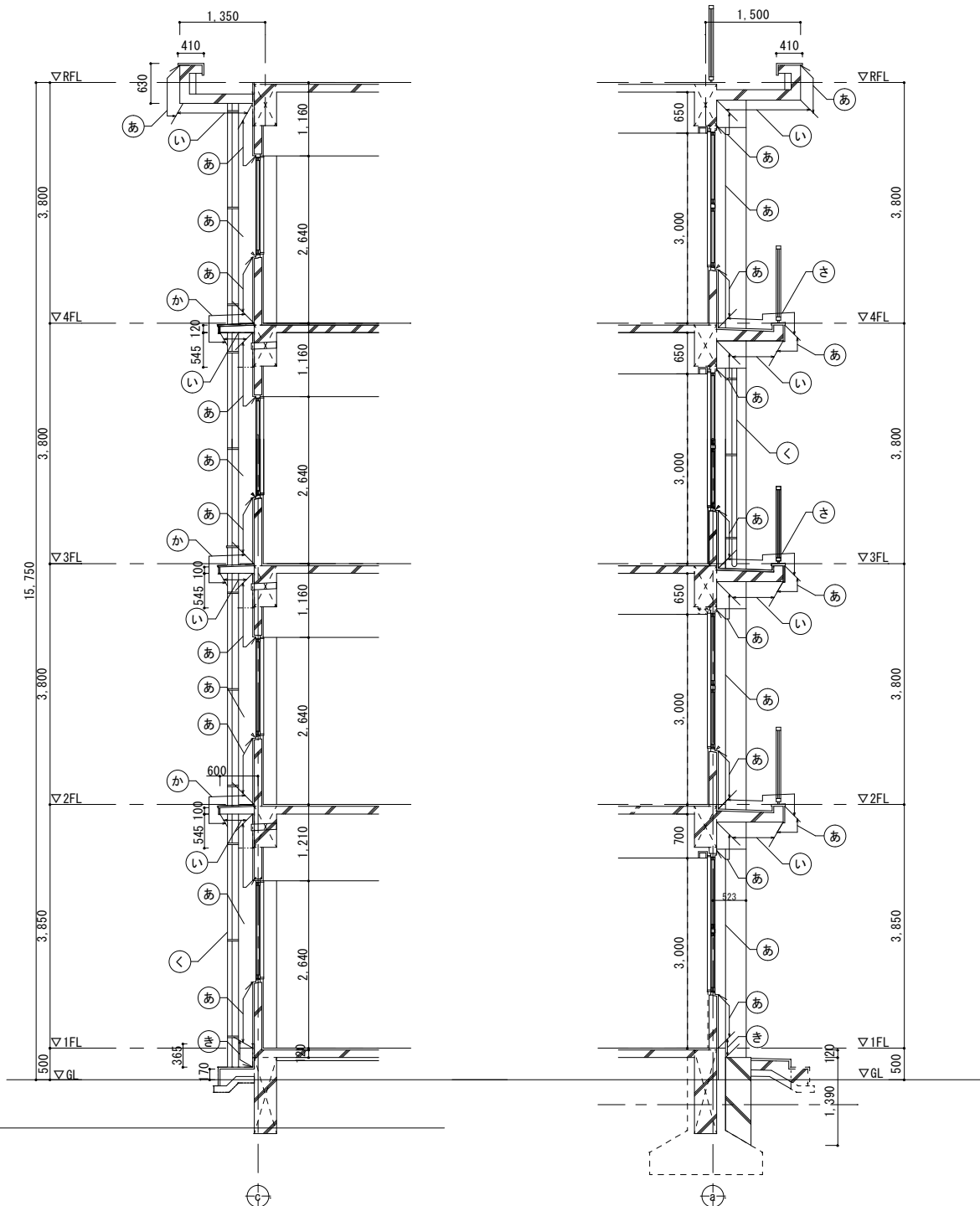


南側立面図 S=1/150

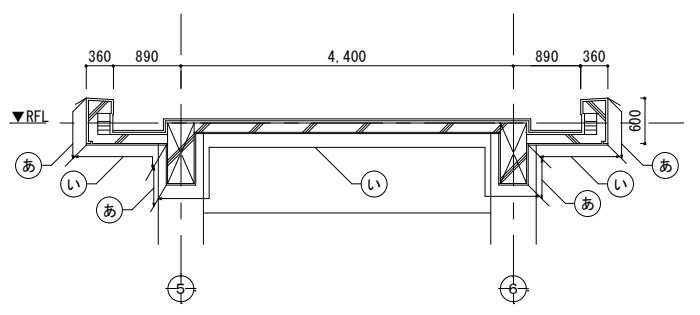


東側立面図 S=1/150

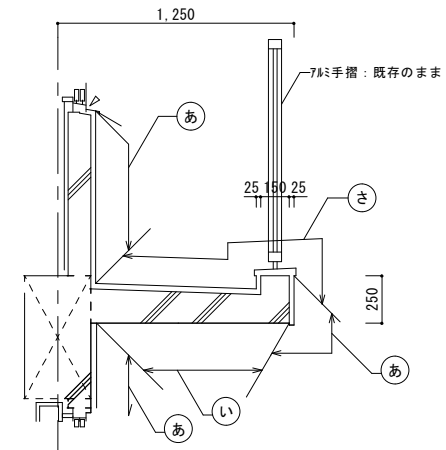
工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事		尺度 S = 1/100
図面名称 立面図(南側・東側)		縮尺率 図面No
福山市建設局建築部営繕課	A1=100%	12/14
	A2=71%	
	A3=50%	



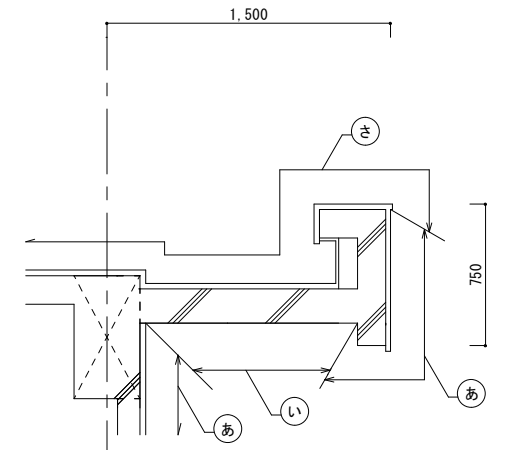
南棟校舎
矩計図 S=1/50



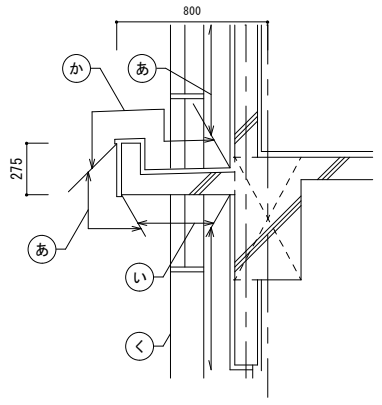
渡り廊下①
大屋根断面詳細図 S=1/50



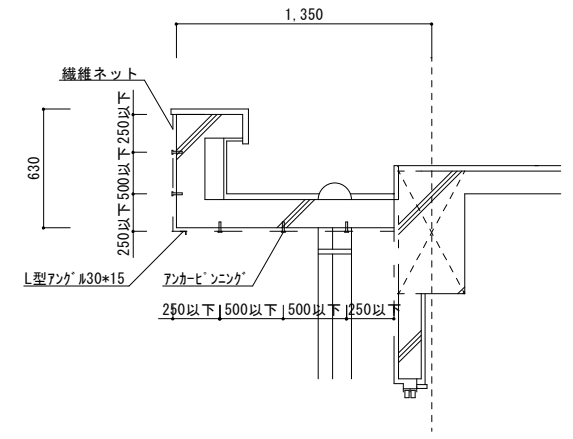
南棟校舎
バルコニー断面詳細図 S=1/20



南棟校舎
昇降所庇断面詳細図 S=1/20



渡り廊下①
小庇断面詳細図 S=1/20



F工法詳細図 S=1/20

符号	仕上げ	符号	仕上げ
あ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	き	既存 幅木:モルタル金コテ押え
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り	改修	水洗い
い	既存 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付	け	既存 縦樋: VPφ75
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り	改修	既存撤去(金具共)の上 カラ-VPφ75取付(SUS金具共)
う	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付	け	既存 シート防水(平場)
改修	耐震鉄部:DP塗装	改修	水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上、シート防水(S-M2 t=1.5)
え	既存 耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り(上塗材2回塗りのみ)	こ	既存 シート防水(立上り・溝部)
改修	耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	改修	既存防水層撤去、汚れ・清掃、水洗い、下地調整の上 シート防水(S-F2 t=2.0)
お	既存 外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付	さ	既存 ウレタン系塗膜防水(X-2)
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り	改修	水洗い
か	既存 鉄部:塗装仕上げ		
改修	下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)		
改修	防水モルタル塗り		
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)		

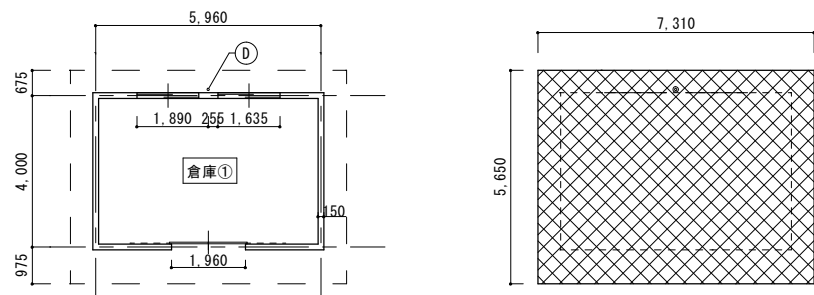
※水洗いの水圧力15MPa[N/mm²]程度とする。

工事名称	福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事	
図面名称	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図	尺度 S = 1/20、1/50
縮尺率	A1=100%	図面No 13
	A2=71%	
	A3=50%	
縮尺率	縮尺率	14



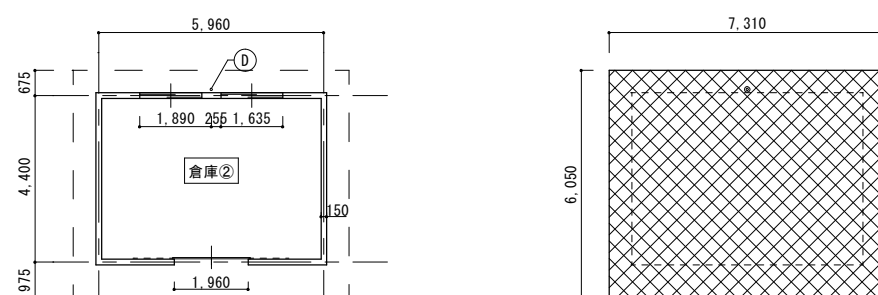
福山市建設局建築部営繕課

倉庫①、倉庫②



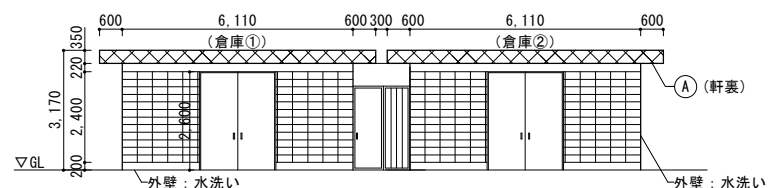
平面図(倉庫①) S=1/100

屋根伏図(倉庫①) S=1/100

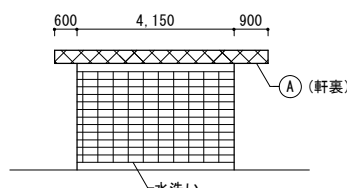


平面図(倉庫②) S=1/100

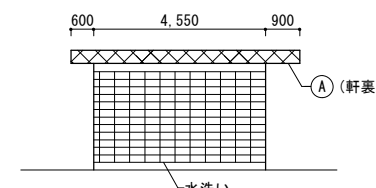
屋根伏図(倉庫②) S=1/100



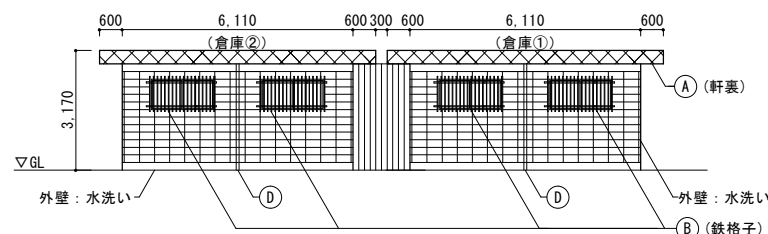
西側立面図(倉庫①、②) S=1/100



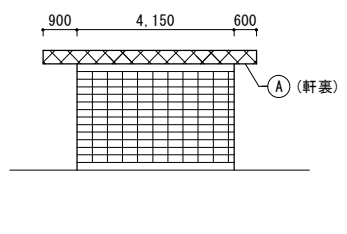
北側立面図(倉庫①) S=1/100



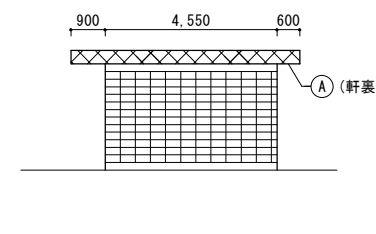
北側立面図(倉庫②) S=1/100



東側立面図(倉庫①、②) S=1/100

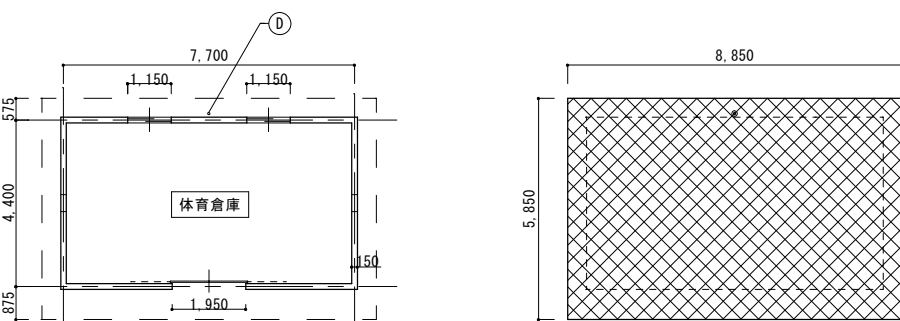


南側立面図(倉庫①) S=1/100



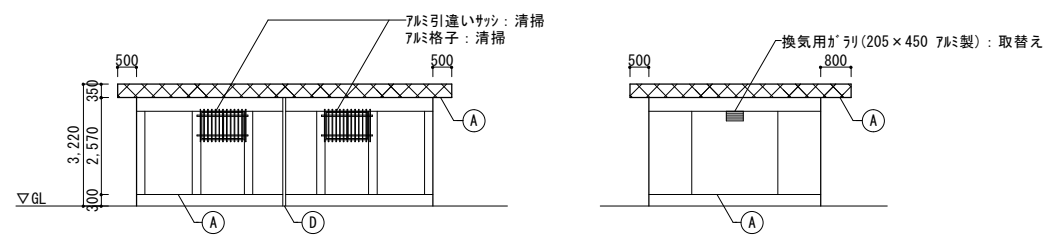
南側立面図(倉庫②) S=1/100

体育倉庫



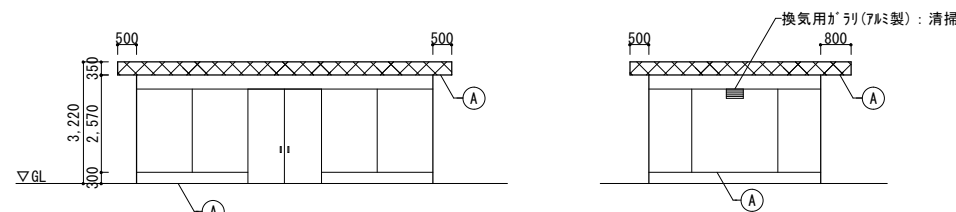
平面図(体育倉庫) S=1/100

屋根伏図(体育倉庫) S=1/100



北側立面図(体育倉庫) S=1/100

西側立面図(体育倉庫) S=1/100



南側立面図(体育倉庫) S=1/100

東側立面図(体育倉庫) S=1/100

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(クランク処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系ルフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) ◎ 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去、クン・清掃、水洗い、下地調 整(クランク処理共)の上 合成高分子系ルフィングシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部): 7#引違いガラ45x65取付(シリング仕舞)
既存	ウレタン系塗膜防水
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(クランク処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法)
既存	鋼管縦樋φ75 VP縦樋φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 鋼管縦樋φ75取付(SUS金具共) 【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びハケ基準を満たす ものとする。

凡例・共通事項	
凡例	仕上げ
既存	外壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏: コンクリート打放し アクリルリシン吹付
改修	外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り
既存	耐震CON壁: 外装薄塗材E吹付 耐震鉄部: DP塗装
改修	耐震CON壁: 清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)
既存	外壁石綿含有部: アクリルリシン吹付
改修	外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
既存	縦樋: VPφ75
改修	既存撤去(金具共)の上 鋼管縦樋φ75取付(SUS金具共)
・ 建具周囲・水切端部: 変成シリコン系シーリング(MS-2)15x10打替 ・ 既存鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP) [対象]設備配管・換気口・ウェザカバー・電気BOX・建具(両面・小口・枠共)・その他監督員が指示するもの ・ 基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。	

参考数量書

§ 工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

§ 工事場所 福山市引野町5401番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立長浜小学校南棟校舎外壁塗装改修工事

工事場所 福山市引野町5401番地

【工事概要】
防水改修、外壁改修、塗装改修、環境配慮改修

対象建物	南棟校舎	
	鉄筋コンクリート造	4階建
	延べ面積	1,154㎡
	渡り廊下①	
	鉄筋コンクリート造	4階建
	延べ面積	80.1㎡
	渡り廊下②	
	鉄骨造	平家建
	延べ面積	33.1㎡
	倉庫①	
	コンクリートブロック造	平家建
	延べ面積	23.8㎡
	倉庫②	
	コンクリートブロック造	平家建
	延べ面積	26.2㎡
	体育倉庫	
	鉄筋コンクリート造	平家建
	延べ面積	33.9㎡

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
南棟校舎	1	式		
渡り廊下①	1	式		
渡り廊下②	1	式		
倉庫①	1	式		
倉庫②	1	式		
体育倉庫	1	式		
計				

渡り廊下①									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

渡り廊下②						
名	称	数	量	単位	金額	備考
仮設工事		1		式		
外壁改修工事		1		式		
発生材処分		1		式		
	計					

倉庫②									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

体育倉庫									
名	称	数	量	单	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

南棟校舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	環境配慮改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

渡り廊下①					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

渡り廊下②					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

倉庫①					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

倉庫②					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

体育倉庫					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

南棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		267	m ²			
開口養生		278	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		267	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	190	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	190	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 60日	97.3	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 180日	77	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 180日	1,691	m ²			
くさび緊結式足場	180日 底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	190	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	125	m			
外部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 180日 鉄骨階段部 棚足場 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	48.7	m ²			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 60日	97.3	m ²			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	1,768	m ²			
金網式養生枠	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	240	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	3	か所			
計						

南棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	190	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	190	m ²			
出隅部面取り	ウレタンゴム系塗膜防水施工小庇・バルコニー立上り上端部	132	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	118	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭陰部含む	118	m ²			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	604	m			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	84.3	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー)	径75 SUS金具共	84.3	m			
エルボ	径75 80° エルボ	4	か所			
計						

南棟校舎		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	1,342	㎡			
A-1 打放し面表面劣化 処理		4.7	㎡			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		19	㎡			
B-6 モルタル面ウットシル材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	8.9	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		22.8	m			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	7.7	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	29.9	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	ポリマーセメント	3.3	㎡			
F 外壁複合改修	ビュネット工法	303	㎡			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレス@450含む	118	m			
計						

南棟校舎		外壁改修工事	塗装改修工事			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	1,377	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	277	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	1,065	m ²			
複層塗材 E (耐震補強壁)	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費共	35.3	m ²			
DP塗り (耐震ブレース)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	73	m ²			
DP塗り(細物)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種	7.1	m			
計						

南棟校舎		外壁改修工事			環境配慮改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング撤去	集積共 7x6' 자含有	604	m			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.1	m ³			
計						

南棟校舎						
		発生材処分			発生材処理費	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設廃材処理費	廃プラ	0.2	t			
建設廃材処理費	がれき類	0.4	t			
発生材処理費	石綿含有産業廃棄物	0.1	t			
計						

渡り廊下①						
名称	摘要	仮設工事			直接仮設	
		数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		92.7	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		92.7	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	340	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	340	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 20m未満 180日	615	m ²			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 180日	38.8	m			
くさび緊結式足場	180日 底部 プラケット 掛払い手間,運搬費,維持管理費共	93.3	m			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 180日	615	m ²			
金網式養生枠	掛払い手間,運搬費,維持管理費共 180日	83.4	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	2	か所			
計						

渡り廊下①		外壁改修工事		防水改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	340	m ²			
ルン・清掃	防水面 ルン・清掃	340	m ²			
出隅部面取り	シート防水施工立上り内上端部	88.2	m			
根巻き部補修	欠損部成形 材工共	3	か所			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	264	m ²			
下地処理 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	76	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面 防滑仕上げ	228	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狹隘部含む	112	m ²			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	60.9	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径75 SUS金具共	60.9	m			
エルボ	径75 80° エルボ	12	か所			
計						

渡り廊下①		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	685	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		9.1	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		3.1	m ²			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	4.6	m			
C-1 クランク部打放し面 サビ鉄筋処理		1.7	m			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16ヶ所/㎡)	3.5	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5ヶ所/m)	15.4	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	ポリマーセメント	1.7	m ²			
F 外壁複合改修	ビニネット工法	61.1	m ²			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレス④450含む	36.1	m			
計						

渡り廊下①		外壁改修工事		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	685	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	512	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	173	m ²			
DP塗り(細物)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種	18.1	m			
計						

渡り廊下①		発生材処分			発生材運搬費	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設発生材運搬費	廃プラ	0.1	t			
建設発生材運搬費	がれき類	0.1	t			
計						

渡り廊下①						
名 称	摘 要	発生材処分			発生材処理費	
		数 量	単位	単 価	金 額	備 考
建設廃材処理費	廃プラ	0.1	t			
建設廃材処理費	がれき類	0.1	t			
計						

渡り廊下②		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		33.1	㎡			
整理清掃後片付け		33.1	㎡			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 30日 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	33.1	㎡			
計						

渡り廊下②						
外壁改修工事				防水改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	6.2	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー)	径50 SUS金具共	6.2	m			
エルボ	径50 80° エルボ	2	か所			
集水器	塩ビ大ます	3	か所			
軒どい撤去	VP管 集積共 金具共	19.8	m			
軒樋	塩化ビニル製 半円形 Φ105	19.8	m			
計						

渡り廊下②		外壁改修工事		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
DP塗り(細物)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種	198	m			
計						

渡り廊下②		外壁改修工事			その他工事	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根清掃		44.2	㎡			
計						

渡り廊下②						
		発生材処分		発生材運搬費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬費	廃プラ	0.1	t			
計						

倉庫①	仮設工事			直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		39.8	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		39.8	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	50.4	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	50.4	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W600 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 30日	72	m ²			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	23.9	m			
防護シート張り	防災1類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	72	m ²			
計						

倉庫①						
外壁改修工事				防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	50.4	㎡			
ｸﾝ・清掃	防水面 ｸﾝ・清掃	50.4	㎡			
改修用ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ (ﾄｰﾑ型)	75φ 縦型 材工共	1	か所			
出隅部面取り	ｼｰﾄ防水施工立上り内上端部	25.9	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・ｸﾗｯｸ処理	50.4	㎡			
ｸﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 塗膜防水	X-2 平面	41.3	㎡			
ｸﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狹隘部含む	9.1	㎡			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	2.8	m			
硬質ﾌﾟﾘ塩化 ビニﾙ管とい(ｶﾗｰ)	径75 SUS金具共	2.8	m			
計						

倉庫①		外壁改修工事	外壁劣化改修工事			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	17.5	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		1.8	m ²			
計						

倉庫①		外壁改修工事			塗装改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	75.5	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	17.5	m ²			
DP塗り(細物)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種	42.7	m			
計						

倉庫①		発生材処分			発生材運搬費	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬費	一般	0.1	t			
建設発生材運搬費	廃プラ	0.1	t			
建設発生材運搬費	がれき類	0.1	t			
計						

倉庫①		発生材処分		発生材処理費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設廃材処理費	一般	0.1	t			
建設廃材処理費	廃プラ	0.1	t			
建設廃材処理費	がれき類	0.1	t			
計						

倉庫②		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		41.4	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		41.4	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	53.6	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	53.6	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W600 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 30日	100	m ²			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	33.9	m			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	100	m ²			
計						

倉庫②		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	53.6	㎡			
ｸﾞﾝ・清掃	防水面 ｸﾞﾝ・清掃	53.6	㎡			
改修用ﾙｰﾌﾞﾚﾝ (ﾄｰﾑ型)	75φ 縦型 材工共	1	か所			
出隅部面取り	ｼｰﾄ防水施工立上り内上端部	26.7	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・ｸﾗｯｸ処理	53.6	㎡			
ｸﾞﾗﾝｺﾞﾑ系 塗膜防水	X-2 平面	44.2	㎡			
ｸﾞﾗﾝｺﾞﾑ系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	9.4	㎡			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	2.8	m			
硬質ﾌﾞﾘ塩化 ﾋﾞﾆﾙ管とい(ｶﾗｰ)	径75 SUS金具共	2.8	m			
計						

倉庫②		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	18	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		1.8	m ²			
計						

倉庫②		外壁改修工事			塗装改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	78.1	㎡			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	18	㎡			
DP塗り(細物)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種	42.7	m			
計						

